

令和6年度版
事業概要
(令和5年度 事業実績)

埼玉県熊谷保健所

目 次

埼玉県熊谷保健所の概要

1 沿革	1
2 所管区域の特徴	1
3 組織	3
4 業務	3
5 人口	5
(1) 管内人口の年次推移	5
(2) 管内の年齢階級別人口	6

令和5年度事業の概要

I 地域保健医療計画	1 3
1 計画の概要	1 3
2 計画の推進	1 3
(1) 埼玉県北部地域医療構想調整会議	1 3
(2) 埼玉県北部地域保健医療協議会	1 4
II 生涯を通じた健康づくり体制の確立	1 5
1 健康づくりの推進	1 5
(1) 健康増進（専門的栄養指導、給食施設指導等）	1 5
(2) 国民健康栄養調査	1 6
(3) 食育推進事業	1 6
(4) 食品表示法に基づく食品の表示指導	1 7
(5) 健康づくり協力店制度の普及	1 7
(6) 地域・職域連携推進事業	1 7
(7) 受動喫煙防止対策	1 9
(8) 栄養士・調理師養成施設の指導	2 0
2 歯科保健の推進	2 0
3 母と子の健康を守るために	2 1
(1) 母子を対象とする医療給付	2 1
(2) 虐待予防の視点に立った母子保健事業	2 2
(3) 子どもの心の健康相談	2 3
(4) 子どもの心のネットワーク事業	2 4
4 心の健康を守るために	2 5
(1) 心の健康相談	2 5
(2) 精神障害者の医療等の状況	2 5
(3) ひきこもり対策事業	2 6
(4) 埼玉県措置入院者退院後支援事業	2 6
(5) 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業	2 7
(6) 県北保健所ブロック会議	2 8
(7) 市町等関係機関との連携	2 9

5	難病患者のQOL（生活の質）を向上するために	30
	（1）指定難病医療給付事業	30
	（2）在宅難病患者支援事業	35
	（3）原子爆弾被爆者援護事業	37
	（4）石綿健康被害救済給付業務	38
6	感染症を予防するために	39
	（1）感染症予防	39
	（2）新型コロナウイルス感染症	41
	（3）エイズ及びその他の性感染症予防	42
	（4）肝炎治療特別促進事業	43
	（5）結核対策	44
7	現任教育	46
	（1）県・市町村保健師連絡調整会議（地域別会議）	46
	（2）熊谷保健所新任期保健師研修会	46
	（3）拠点保健所における人材育成研修会	46
III	安心して暮らせるための医療の充実	48
1	医療提供体制の整備	48
	（1）医療施設数	48
	（2）病床数	48
	（3）医療従事者数	48
	（4）医療安全研修会の実施	49
	（5）医療安全相談	49
2	免許事務処理状況	50
3	熊谷・深谷地区の救急医療体制	51
	（1）救急医療体制	51
	（2）熊谷・深谷地区救急医療対策協議会	52
	（3）小児救急医療支援事業	52
	（4）小児二次救急医療担当医会議	52
	（5）熊谷・深谷・児玉地区市町小児救急医療支援事業担当課長会議	53
4	健康危機管理体制の整備	53
	（1）広域的な健康危機管理訓練の実施	53
	（2）防災行政無線の通信訓練	54
	（3）衛星携帯電話等の通信訓練	54
	（4）アクションカードによる所内訓練	54
	（5）EMIS入力訓練	54
	（6）北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議	55
5	学生実習、医師・歯科医師臨床研修	55
	（1）看護学生実習の受入れ	55
	（2）管理栄養士学生実習の受入れ	55
	（3）臨床研修医の受入れ	55

6	医薬品・血液を安定供給するために……………	5 6
	(1) 薬事・麻薬関係施設数等……………	5 6
	(2) 献血状況……………	5 7
IV	衛生的で安全な生活環境の確保……………	5 8
1	安全な食品を提供するために……………	5 8
	(1) 旧食品衛生法（令和3年6月1日改正前の食品衛生法）に基づく営業施設……………	5 8
	(2) 改正食品衛生法（以下、新法）に基づく営業施設……………	5 9
	(3) 食品衛生に関する条例に基づく営業施設……………	6 0
	(4) 新法届出施設等（新法第57条に基づく届出）……………	6 0
	(5) 食中毒発生状況……………	6 0
	(6) 食中毒予防対策……………	6 1
	(7) 食品監視・検査業務概況……………	6 1
	(8) 無許可営業発見数……………	6 1
	(9) 違反施設（業種）発見処理状況……………	6 1
	(10) 違反食品などの発見、処理件数……………	6 2
2	安全で良質な水を供給するために……………	6 3
3	衛生的な生活環境を確保するために……………	6 3
4	人と動物が共生する社会づくりを進めるために……………	6 4
	(1) 犬の登録、狂犬病予防注射及び苦情などの状況……………	6 4
	(2) 抑留犬・収容犬の状況……………	6 4
	(3) 特定動物（危険な動物）飼養状況……………	6 4
	(4) 動物取扱業登録施設数……………	6 4
参考資料		
○	人口動態統計……………	6 7
○	関係機関・団体、協議会委員等……………	8 3
○	熊谷保健所健康相談等日程表……………	9 2

埼玉県熊谷保健所の概要

1 沿革

- ・昭和19年10月1日 熊谷保健所開設（熊谷市熊谷1125-1）所管区域1市3町30村（当時）
- ・昭和26年12月7日 熊谷市石原1825に新庁舎竣工
- ・昭和29年7月1日 寄居保健所新設 寄居町など1町7村移管
- ・昭和43年4月1日 深谷保健所新設 深谷市など1市1町1村移管
- ・昭和46年10月26日 熊谷地方庁舎新築に伴い、庁舎2階に移転（熊谷市熊谷861）
- ・昭和51年9月1日 公害監視室を新設 9保健所管内の44市町村を所管
- ・昭和52年4月1日 春日部保健所公害監視室新設に伴い、公害監視室の所管区域は6保健所管内27市町村となる。
- ・昭和54年4月1日 深谷保健所食品監視室、試験検査室新設に伴い、食品監視及び試験検査部門を移管
- ・昭和62年4月1日 北部環境管理事務所新設に伴い、公害監視室を移管
- ・平成9年4月1日 保健・医療と福祉の連携のため、大里福祉保健総合センターが設置された。
寄居保健所が廃止され、熊谷保健所寄居支所となる。
- ・平成11年4月1日 大里福祉保健総合センターに福祉事務所が統合され、保健所がセンター内の機関に位置づけられた。
- ・平成18年4月1日 深谷保健所が熊谷保健所に統合され、深谷分室となった。
寄居支所は寄居分室となった。
食品監視担当は、秩父・本庄・熊谷・加須の4保健所管内を所管する。
- ・平成22年4月1日 福祉保健総合センター・保健所統合再編にともない、大里福祉保健総合センターを廃止し、熊谷保健所と北部福祉事務所に再編された。深谷分室、寄居分室は廃止された。
広域的な総合調整を行う拠点保健所として広域調整担当を置き、熊谷・鴻巣・本庄・秩父の4保健所管内を所管とされた。
食品監視担当の所管区域は熊谷・鴻巣・本庄・秩父の4保健所管内となった。

2 所管区域の特徴

熊谷保健所の所管区域は、熊谷市、深谷市、大里郡寄居町の2市1町で、県北地域のほぼ中央に位置している。区域面積は362.44k㎡である。（県統計年鑑より）

また、広域調整担当及び食品監視担当は、熊谷・鴻巣・本庄・秩父の4保健所管内を所管している。

交通網は、ほぼ南北に関越自動車道、国道17号線、254号線、407号線が通り、東西に国道140号線、125号線が通り、基幹的な交通網を形成している。

鉄道は、上越・北陸新幹線が熊谷駅に停車し、JR高崎線、JR八高線、秩父鉄道が通るほか、東武東上線が寄居駅まで乗り入れている。

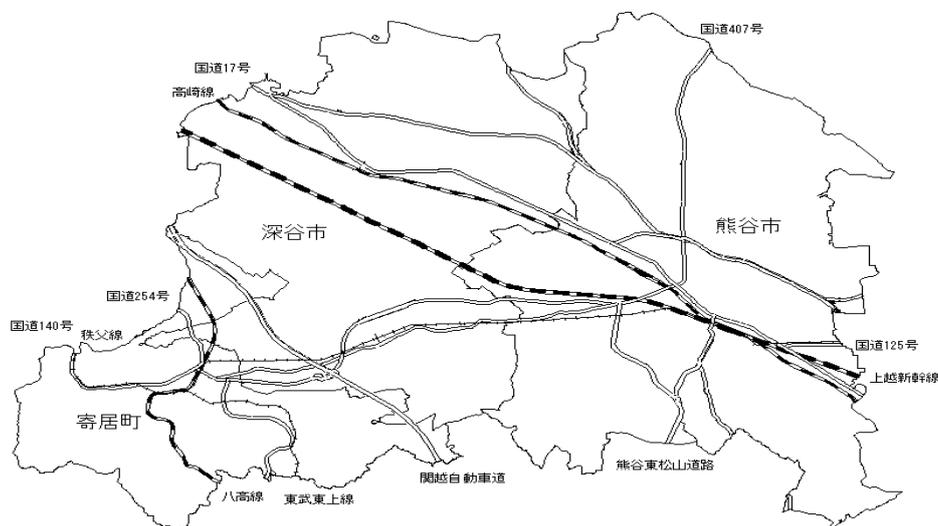
所管区域は、J R 高崎線沿線を中心に発展し、特に熊谷市は交通の要衝として古くから行政機能や商業施設が集積し、深谷市も商工業の集積が進んでいる。また、恵まれた気候・風土から、区域内では農業も盛んで、田園風景が残っている。

近年は、人口の緩やかな減少が続いている一方で、高齢者人口は増加しており、管内の高齢化率は30.8%、県の平均26.9%を上回っている。今後もこの傾向は続くものと見込まれる。

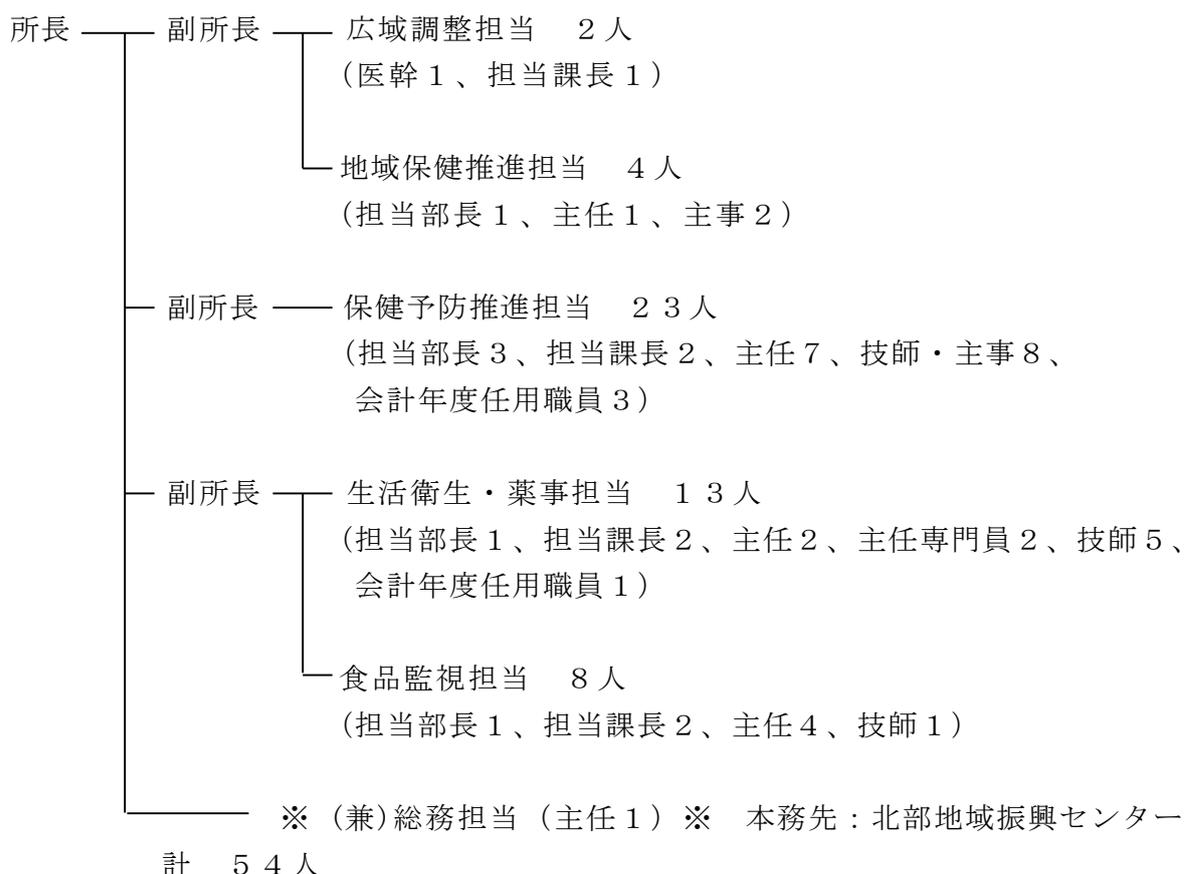
管内の人口は365,534人（R6.1.1現在）、各市町人口は、次表のとおりである。
 （「埼玉県町（丁）字別人口調査」による。）

	熊谷市	深谷市	寄居町	管内
R6.1.1	192,074人	141,419人	32,041人	365,534人

熊谷保健所管内図



3 組織（令和6年4月1日現在現員）



職種別現員状況（令和6年4月1日現在）

職種	医師	薬剤師	獣医師	保健師	管理栄養士	精神保健 福祉指導職	動物 愛護職	一般 行政	会計年 度任用
人数	2	12	8	15	2	3	1	7	4

4 業務

○広域調整担当

- ・健康危機管理に係る情報等の収集、分析及び提供
- ・健康危機管理の広域的な体制整備
- ・地域保健医療計画に基づく医師確保対策並びに保健所の所管区域をまたがる救急医療や地域医療連携など医療提供体制の整備に係る調整
- ・保健所の医事業務に対する支援及び医務担当者への専門的教育
- ・保健所が実施する医療機関への立入検査への支援
- ・福祉事務所等関係機関との定例的な連絡調整体制の確保
- ・臨床研修医、臨床研修歯科医の研修及び学生実習の受入の調整
- ・その他、各保健所の所管区域をまたがる広域的な連絡調整

○地域保健推進担当

- ・地域保健（医務）に関する市町支援の企画・調整
- ・地域保健医療計画の推進及び圏域別取組の調整並びに医療提供体制整備の推進
- ・救急医療機関の認定申出及び管内の救急医療に関する調整等
- ・病院等の許可・届出、立入検査、医療安全相談等の医務に関する事務

- ・人口動態統計その他地域保健に関する統計・調査
- ・保健・医療・福祉に関する情報等の収集、分析等
- ・衛生関係免許事務
- ・広聴広報の調整
- ・地域振興センターとの総務事務に関する連絡調整

○保健予防推進担当

- ・健康づくりの推進
- ・特定給食施設の届出、栄養管理に関する指導
- ・食品栄養成分表示等に関する指導
- ・歯科保健
- ・専門的母子保健
- ・精神保健相談
- ・難病対策、原爆被爆者の援護
- ・指定難病、小児慢性疾患、肝炎治療費等に関する医療給付
- ・結核・感染症予防
- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・エイズ検査・相談
- ・市町村事業に対する専門的、技能的支援
- ・地域におけるケア・コーディネーション機能の充実強化
- ・難病等在宅療養者に関するソーシャルキャピタルの醸成
- ・不妊治療の支援
- ・受動喫煙対策実施に係る届出・指導

○生活衛生・薬事担当

- ・食品営業許可、食品営業施設等の監視・指導
- ・食中毒予防、食中毒疑い調査及び原因施設の行政処分
- ・理容所・美容所・クリーニング所の確認検査、監視・指導
- ・旅館・公衆浴場等の営業許可、監視・指導
- ・特定建築物の届出、建築物事業の登録、監視・指導
- ・薬局等の許可、医薬品等の適正使用
- ・麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物乱用防止
- ・献血思想の普及
- ・毒物劇物営業者等の登録、届出、監視・指導
- ・狂犬病予防、犬の捕獲・適正飼養指導
- ・特定動物の許可、監視・指導
- ・動物取扱業の登録、監視・指導
- ・水道事業の認可、水道施設の監視・指導、水質検査
- ・衛生教育

○食品監視担当

- ・営業施設等の専門的な監視及び指導
- ・営業者等からの報告の徴収
- ・営業施設等の立入検査
- ・食品等の収去
- ・営業停止等の行政処分（食中毒関係を除く）
- ・食品関係営業者等の衛生教育の実施

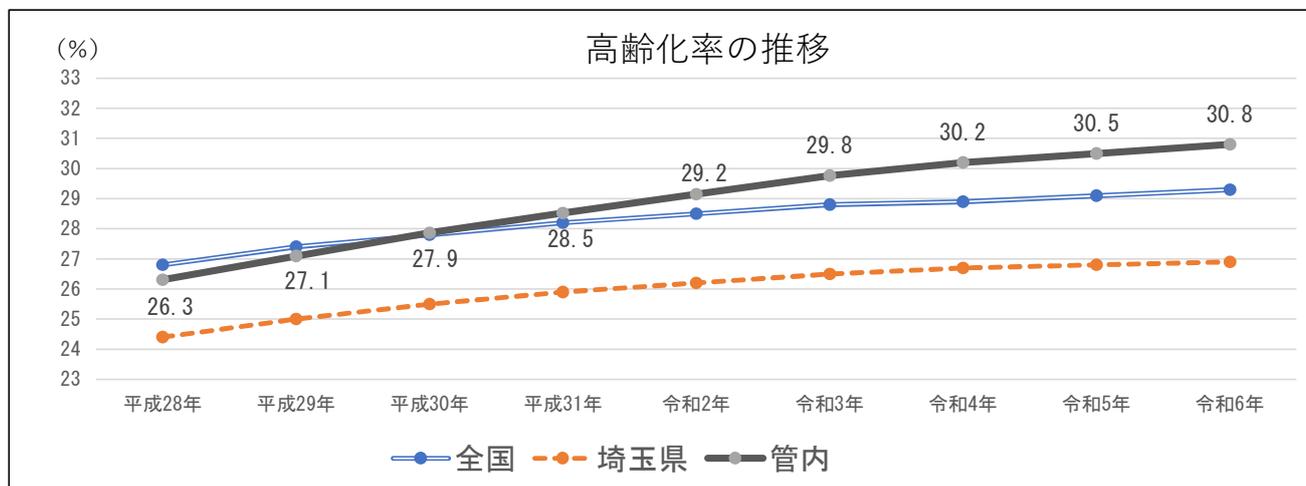
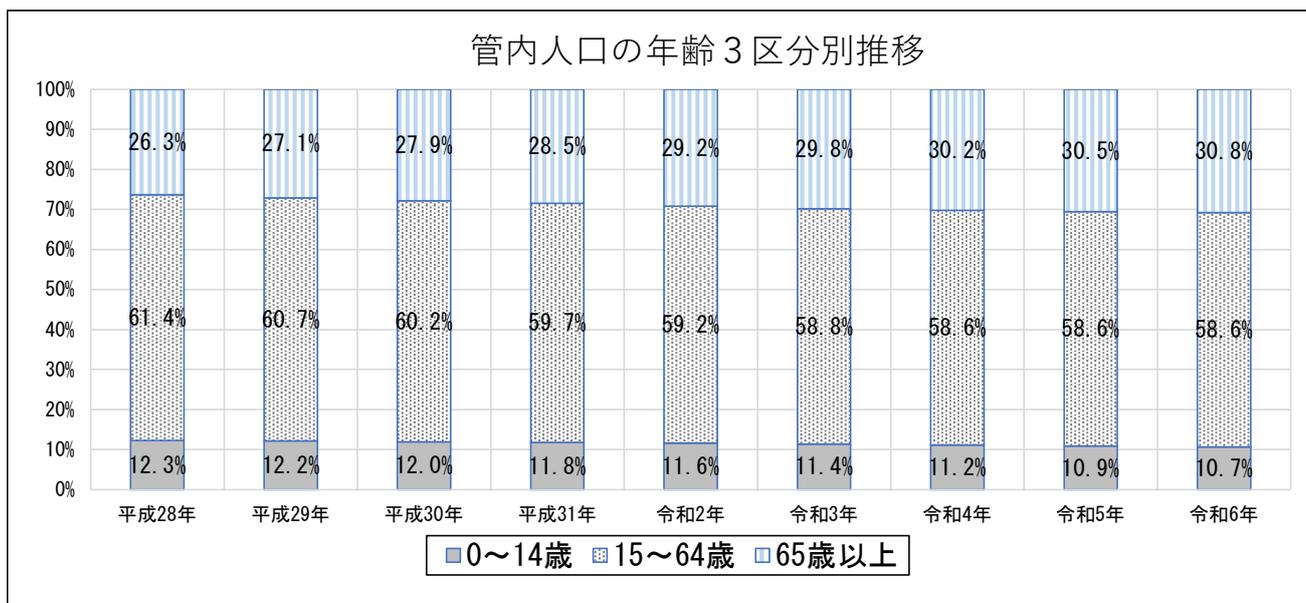
5 人口

(1) 管内人口の年次推移

(単位:人, %)

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
埼玉県	7,323,360	7,343,733	7,362,941	7,377,199	7,389,961	7,393,780	7,385,819	7,381,007	7,378,619
管内	380,591	378,866	377,278	375,117	373,390	371,128	368,790	367,050	365,534
熊谷市	200,683	199,705	198,824	197,731	196,829	195,410	193,820	193,132	192,074
深谷市	145,053	144,696	144,375	143,675	143,219	142,803	142,383	141,681	141,419
寄居町	34,855	34,465	34,079	33,711	33,342	32,915	32,587	32,237	32,041
0～14歳	46,922	46,147	45,241	44,154	43,426	42,271	41,215	40,092	38,996
15～64歳	233,550	230,040	226,920	223,982	221,258	218,366	216,093	215,020	214,018
65歳以上	100,119	102,679	105,117	106,981	108,886	110,491	111,482	111,938	112,520
高齢化率	26.3	27.1	27.9	28.5	29.2	29.8	30.2	30.5	30.8

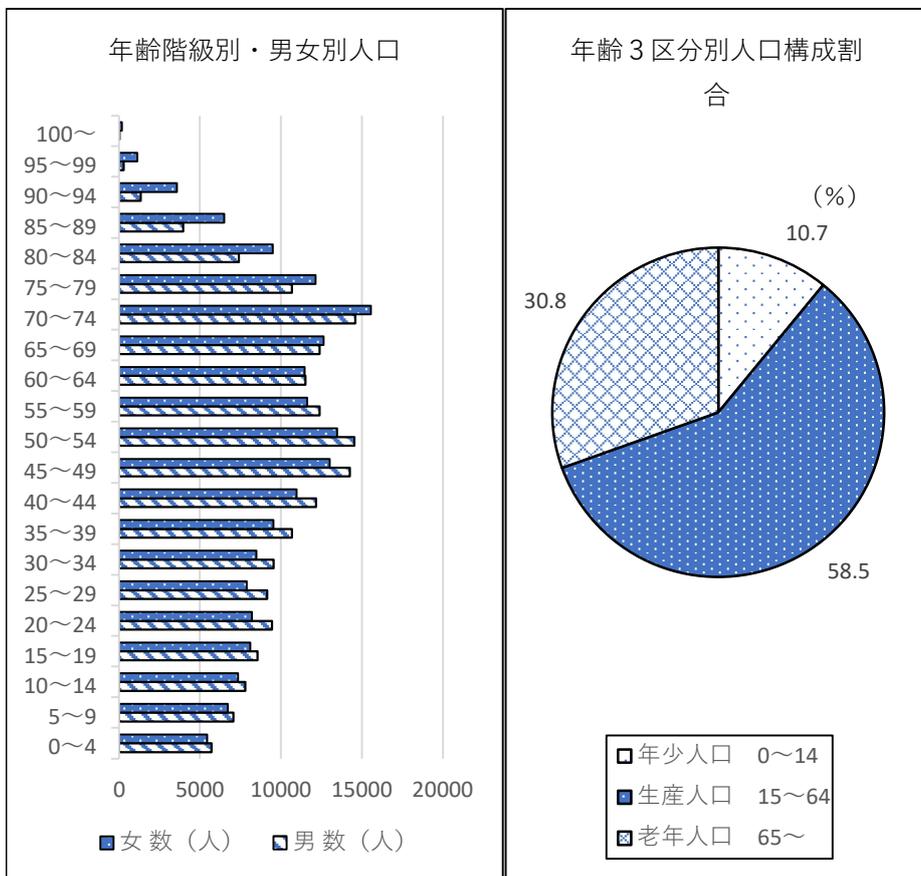
※資料:埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告(各年1月1日現在)



(2)管内の年齢階級別人口

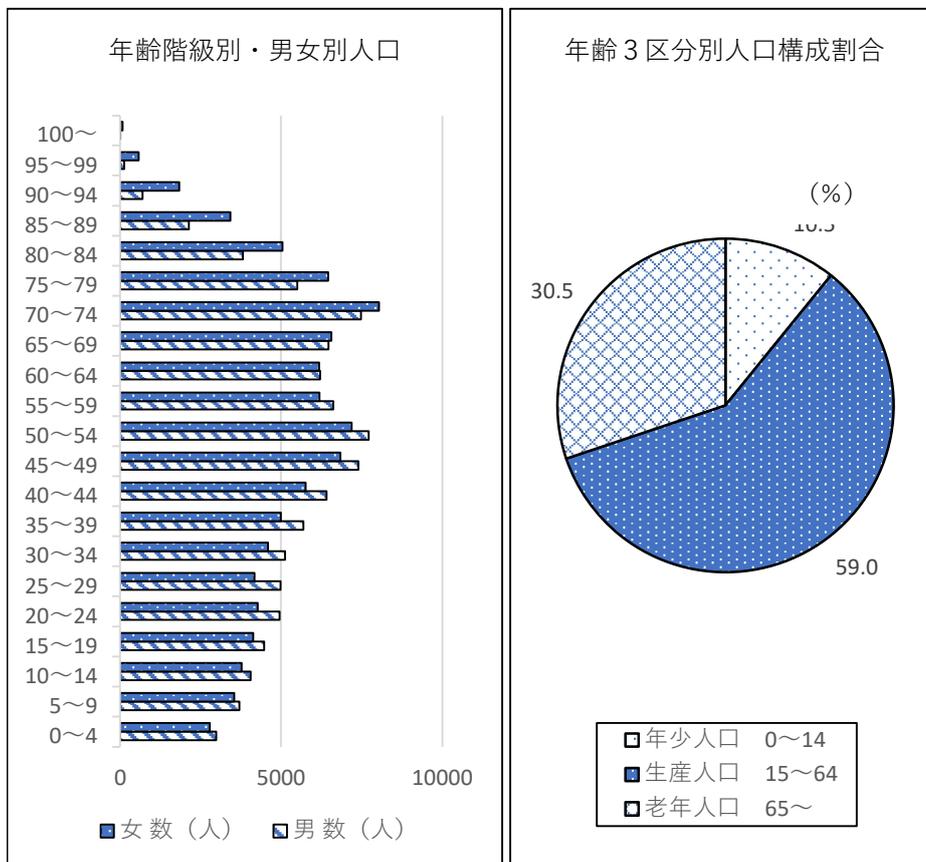
ア 管内

年齢	総 数		男		女	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
合計	365,534	100	182,744	100	182,790	100
0～4	10,729	2.9	5,479	3.0	5,250	2.9
5～9	13,463	3.7	6,905	3.8	6,558	3.6
10～14	14,804	4.0	7,634	4.2	7,170	3.9
15～19	16,496	4.5	8,493	4.6	8,003	4.4
20～24	17,800	4.9	9,457	5.2	8,343	4.6
25～29	17,187	4.7	9,343	5.1	7,844	4.3
30～34	17,702	4.8	9,326	5.1	8,376	4.6
35～39	19,865	5.4	10,546	5.8	9,319	5.1
40～44	22,538	6.2	11,826	6.5	10,712	5.9
45～49	26,334	7.2	13,814	7.6	12,520	6.8
50～54	28,713	7.9	14,927	8.2	13,786	7.5
55～59	24,553	6.7	12,674	6.9	11,879	6.5
60～64	22,830	6.2	11,414	6.2	11,416	6.2
65～69	24,383	6.7	12,110	6.6	12,273	6.7
70～74	28,700	7.9	13,801	7.6	14,899	8.2
75～79	24,088	6.6	11,369	6.2	12,719	7.0
80～84	18,024	4.9	7,868	4.3	10,156	5.6
85～89	10,637	2.9	4,057	2.2	6,580	3.6
90～94	4,968	1.4	1,398	0.8	3,570	2.0
95～99	1,501	0.4	279	0.2	1,222	0.7
100～	219	0.1	24	0.0	195	0.1
年少人口 0～14	38,996	10.7	20,018	11.0	18,978	10.4
生産人口 15～64	214,018	58.5	111,820	61.2	102,198	55.9
老年人口 65～	112,520	30.8	50,906	27.9	61,614	33.7



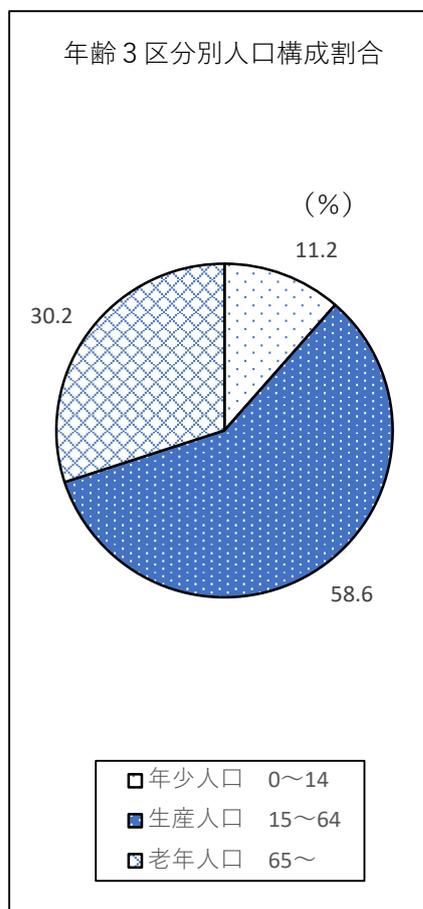
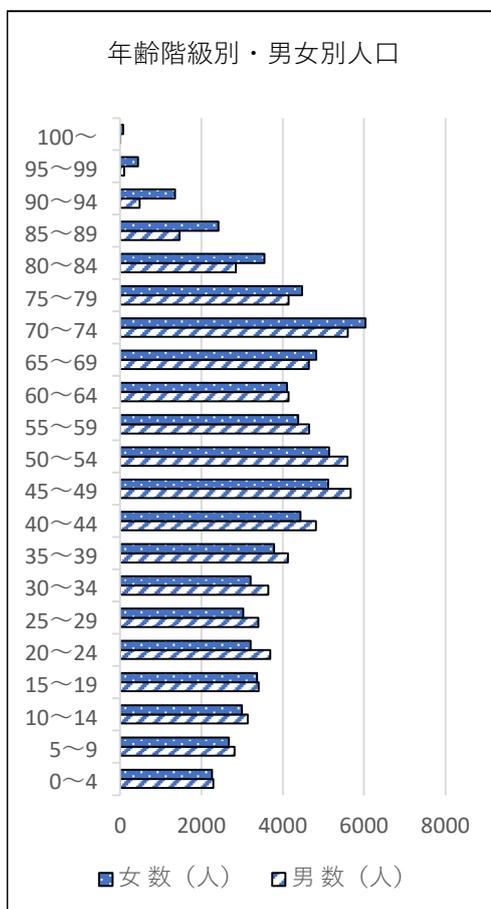
イ 熊谷市

年齢	総数		男		女	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
合計	192,074	100	96,157	100	95,917	100
0～4	5,507	2.9	2,841	3.0	2,666	2.8
5～9	7,035	3.7	3,618	3.8	3,417	3.6
10～14	7,671	4.0	3,962	4.1	3,709	3.9
15～19	8,519	4.4	4,460	4.6	4,059	4.2
20～24	9,347	4.9	5,017	5.2	4,330	4.5
25～29	9,231	4.8	5,036	5.2	4,195	4.4
30～34	9,420	4.9	4,966	5.2	4,454	4.6
35～39	10,533	5.5	5,607	5.8	4,926	5.1
40～44	11,910	6.2	6,267	6.5	5,643	5.9
45～49	13,729	7.1	7,182	7.5	6,547	6.8
50～54	15,175	7.9	7,875	8.2	7,300	7.6
55～59	13,089	6.8	6,774	7.0	6,315	6.6
60～64	12,283	6.4	6,149	6.4	6,134	6.4
65～69	12,831	6.7	6,370	6.6	6,461	6.7
70～74	14,681	7.6	7,037	7.3	7,644	8.0
75～79	12,635	6.6	5,924	6.2	6,711	7.0
80～84	9,416	4.9	4,011	4.2	5,405	5.6
85～89	5,589	2.9	2,164	2.3	3,425	3.6
90～94	2,627	1.4	750	0.8	1,877	2.0
95～99	739	0.4	132	0.1	607	0.6
100～	107	0.1	15	0.0	92	0.1
年少人口 0～14	20,213	10.5	10,421	10.8	9,792	10.2
生産人口 15～64	113,236	59.0	59,333	61.7	53,903	56.2
老年人口 65～	58,625	30.5	26,403	27.5	32,222	33.6



ウ 深谷市

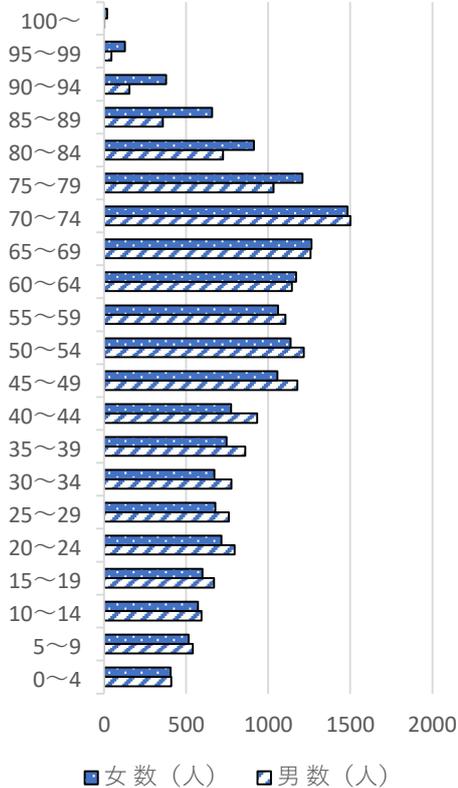
年齢	総数		男		女	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
合計	141,419	100.0	70,624	100	70,795	100
0～4	4,415	2.9	2,215	3.1	2,200	3.1
5～9	5,408	3.8	2,768	3.9	2,640	3.7
10～14	6,007	4.2	3,099	4.4	2,908	4.1
15～19	6,686	4.7	3,354	4.7	3,332	4.7
20～24	6,971	4.9	3,649	5.2	3,322	4.7
25～29	6,525	4.6	3,549	5.0	2,976	4.2
30～34	6,842	4.8	3,603	5.1	3,239	4.6
35～39	7,712	5.5	4,057	5.7	3,655	5.2
40～44	8,948	6.3	4,650	6.6	4,298	6.1
45～49	10,507	7.4	5,522	7.8	4,985	7.0
50～54	11,121	7.9	5,801	8.2	5,320	7.5
55～59	9,296	6.6	4,809	6.8	4,487	6.3
60～64	8,302	5.9	4,148	5.9	4,154	5.9
65～69	9,067	6.4	4,494	6.4	4,573	6.5
70～74	11,158	7.9	5,346	7.6	5,812	8.2
75～79	9,120	6.4	4,363	6.2	4,757	6.7
80～84	6,848	4.8	3,068	4.3	3,780	5.3
85～89	4,000	2.8	1,525	2.2	2,475	3.5
90～94	1,811	1.3	493	0.7	1,318	1.9
95～99	585	0.4	104	0.1	481	0.7
100～	90	0.1	7	0.0	83	0.1
年少人口 0～14	15,830	11.2	8,082	11.4	7,748	10.9
生産人口 15～64	82,910	58.6	43,142	61.1	39,768	56.2
老年人口 65～	42,679	30.2	19,400	27.5	23,279	32.9



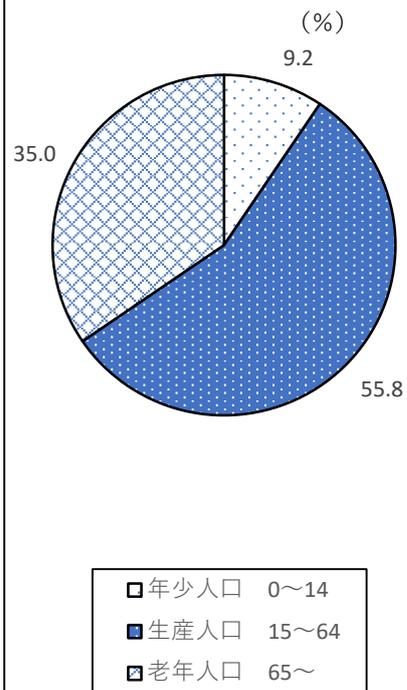
工 寄居町

年齢	総数		男		女	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
合計	32,041	100	15,963	100	16,078	100
0～4	807	2.5	423	2.6	384	2.4
5～9	1,020	3.2	519	3.3	501	3.1
10～14	1,126	3.5	573	3.6	553	3.4
15～19	1,291	4.0	679	4.3	612	3.8
20～24	1,482	4.6	791	5.0	691	4.3
25～29	1,431	4.5	758	4.7	673	4.2
30～34	1,440	4.5	757	4.7	683	4.2
35～39	1,620	5.1	882	5.5	738	4.6
40～44	1,680	5.2	909	5.7	771	4.8
45～49	2,098	6.5	1,110	7.0	988	6.1
50～54	2,417	7.5	1,251	7.8	1,166	7.3
55～59	2,168	6.8	1,091	6.8	1,077	6.7
60～64	2,245	7.0	1,117	7.0	1,128	7.0
65～69	2,485	7.8	1,246	7.8	1,239	7.7
70～74	2,861	8.9	1,418	8.9	1,443	9.0
75～79	2,333	7.3	1,082	6.8	1,251	7.8
80～84	1,760	5.5	789	4.9	971	6.0
85～89	1,048	3.3	368	2.3	680	4.2
90～94	530	1.7	155	1.0	375	2.3
95～99	177	0.6	43	0.3	134	0.8
100～	22	0.1	2	0.0	20	0.1
年少人口 0～14	2,953	9.2	1,515	9.5	1,438	8.9
生産人口 15～64	17,872	55.8	9,345	58.5	8,527	53.0
老年人口 65～	11,216	35.0	5,103	32.0	6,113	38.0

年齢階級別・男女別人口



年齢3区分別人口構成割合



令和5年度

事業の概要

I 地域保健医療計画

1 計画の概要

埼玉県地域保健医療計画は、医療法第30条の4第1項の規定に基づく医療計画として策定されるものである。本県では、昭和62年度に第1次計画を策定した。現在の計画は第8次計画で、計画期間は令和6年度（2024年度）から令和11年度（2029年度）までの6か年である。

県の総合計画である「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」地域別計画が策定されたことから、整合性を図るため二次保健医療圏の見直しが行われ、平成22年4月から当保健所管内は本庄保健所管内とともに北部保健医療圏に属することとなった。

北部保健医療圏において、この計画に係る「圏域別取組」を定め、親と子の保健対策、在宅医療（在宅歯科診療を含む）、精神疾患医療、健康増進・生活習慣病等予防対策、健康危機管理体制の整備充実を「圏域別取組」としている。

また、医療法第30条の4第2項第7号の規定に基づき、埼玉県地域保健医療計画の一部として、将来の医療提供体制に関する構想を定めた埼玉県地域医療構想を平成28年に策定した。この地域医療構想は、現在の第7次地域保健医療計画に引き続き位置付けられている。

2 計画の推進

本計画を推進するために設置された、埼玉県北部地域保健医療・地域医療構想協議会について、限られた時間でより活発な議論を推進するため令和4年度から地域医療構想に関する協議を行う埼玉県北部地域医療構想調整会議と地域保健医療計画に関する協議を行う埼玉県北部地域保健医療協議会とに分離し、計画の推進に係る各実施団体の取組、必要な調整等について協議を行っている。

(1) 埼玉県北部地域医療構想調整会議

日時・場所	内 容	出席委員数
第1回 R5. 7. 21 19:00～20:40 深谷市深谷公民館 【zoom 併用】	<ul style="list-style-type: none">令和5年度地域医療構想調整会議の開催スケジュールについて病院整備計画の公募、病床整備の進捗状況について紹介受診重点医療機関に係る協議について医師の働き方改革に係る特例水準について令和3年度病床機能報告定量基準分析結果について感染症予防計画について	31名
第2回 R5. 12. 18 19:00～20:40 深谷市上柴公民館 【zoom 併用】	<ul style="list-style-type: none">令和5年度第2回埼玉県地域医療構想推進会議の主な意見にて令和4年度病床機能報告・外来機能報告結果について医療機関対応方針の協議・検証について医師の働き方改革に係る特例水準の指定について地域保健医療計画及び介護保険事業（支援）計画における在宅医療・介護サービス等の追加的需要について	33名
第3回 R6. 2. 26	<ul style="list-style-type: none">医療機関対応方針の協議・検証について圏域別フェイスシートについて	31名

19:00～20:15 【オンライン(Zoom)会議】	<ul style="list-style-type: none"> ・「病院整備計画の公募結果」及び「第8次地域保健医療計画(案)に基づく病床公募」について ・紹介受診重点医療機関について(令和5年度外来機能報告) 	
--------------------------------	--	--

(2) 埼玉県北部地域保健医療協議会

日時・場所	内 容	出席委員数
第1回 R5.12.11 19:00～19:45 【オンライン(Zoom)会議】	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域別取組(第7次計画)の令和4年度実績について ・第8次計画の骨子案及び指標案について ・圏域別取組(第8次計画)の策定について ・8次計画の圏域別取組(案)について 	28名
第2回 R6.3.8 19:00～19:40 【オンライン(Zoom)会議】	<ul style="list-style-type: none"> ・第8次地域保健医療計画にかかる圏域別取組(案)について 	29名

II 生涯を通じた健康づくり体制の確立

1 健康づくりの推進

(1) 健康増進（専門的栄養指導、給食施設指導等）

ア 栄養・運動等指導

健康増進法第18条第1項に基づき、専門的な健康づくり・栄養指導等を実施した。

対 象	個別指導延人員			集団指導延人員				
	栄養指導	病態別(再計)	禁煙指導	健康増進	栄養指導	病態別(再計)	運動指導	禁煙指導
20歳以上	38人	2人	68人	0人	433人	0人	0人	80人

イ 給食施設指導

健康増進法第18条第2項に基づき、給食施設指導を実施した。

	特定給食施設 (1回100食又は 1日250食以上)	特定給食施設 (1回300食又は 1日750食以上)	その他の給食 施設
栄養管理指導延施設数	174施設	27施設	136施設
喫食者への栄養指導等	-	-	-

給食施設台帳システムによる給食施設管理 378 施設

健康増進法施行細則による届出 開始届 3 施設、変更届 64 施設、休・廃止届 4 施設

a 給食施設研修会

給食施設の衛生管理、栄養管理、受動喫煙対策、地域の食育推進等に関する研修会を開催した。

実施日	内容・対象施設	参加人数
R5. 8. 1～R5. 9. 8 Youtube 限定公開	給食施設研修会 (食の安全大里地域推進会議と共催) (1) 講義 「給食施設における衛生管理について」 講師 熊谷保健所 食品監視担当職員 (2) 情報提供 「給食施設届出、栄養成分表示、受動喫煙対策等について」 熊谷保健所 保健予防推進担当職員 対象 児童福祉、学校、医療機関、老人保健施設、老人福祉施設、事業所等の衛生管理施設管理担当者等	動画再生数 (1) 315 回 (2) 196 回

R5. 10. 12 オンライン研修	<p>災害時の食支援研修会</p> <p>講話 給食施設における災害時の食支援 ～災害が起きた時に慌てないために、 平常時に取り組むこと～</p> <p>講師 女子栄養大学 公衆栄養学研究室 准教授 久保 彰子 氏</p> <p>対象 北部地域及び近隣保健所管内給食施設関係職員、市町保健衛生主管課関係職員、栄養関係団体等</p>	管内参加者70名 (全体172名)
R5. 11. 21 オンライン研修	<p>食育推進研修会 (食の安全大里地域推進会議と共催)</p> <p>講話①「野菜の食べ方のコツ ～特性を知って美味しく食べる～」</p> <p>講師 野菜ソムリエプロ 牧野 悦子 氏</p> <p>講話②「野菜を食べて生活習慣病予防 ～野菜の効能・効果 葉酸編～」</p> <p>講師 女子栄養大学 専任講師 坂本 香織 氏</p> <p>対象 北部地域及び近隣保健所市町村食育関係課 (保健衛生・子育て支援・教育)、学校、児童福祉施設職員、食育ボランティア、栄養関係団体等</p>	管内参加者83人

b 給食施設の実地指導

地域の健康課題の改善に向け、栄養指導員による給食施設実地指導を実施した。

実施日	内容・対象施設	参加人数
R5. 9～R6. 2	立入検査における指導 (病院・有床診療所)	18 施設
R5. 10. 11	認定こども園	1 施設
R5. 10. 25	老人福祉施設	1 施設

(2) 国民健康・栄養調査

健康増進法第10条に基づき、国民の身体状況、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料を売ることを目的に実施。

令和5年は該当なし

(3) 食育推進事業

地域における食育の推進を図るため、広域的な活動を行う食育・健康づくり関係団体の

活動に参加、情報提供等の支援を実施した。

団体名	支援内容	実施回数	参加人数
北部食育の会 (地域活動栄養士会)	保健所からの資料・情報提供 (メール・電話等)	7回	—
(公社) 埼玉県栄養士会 北部地域事業部	運営委員会への参加 保健所からの情報提供	6回	39人

(4) 食品表示法に基づく食品の表示指導

ア 生活衛生担当及び食品監視担当職員と連携し、食品事業者等からの食品表示（栄養成分表示及び保健機能表示等）に関する相談対応及び表示違反食品の指導を実施した。

食品事業者相談 22件

表示違反食品事業者改善指導 2件

イ 健康増進法及び食品表示法に基づく買い上げ検査の実施 3品

(5) 健康づくり協力店制度の普及

健康づくり協力店指定店 15店舗

(6) 地域・職域連携推進事業

地域で優先的に取り組む必要がある健康課題を特定し、より効果の高い保健事業の実践を目的として実施している。

ア 働く世代の健康づくり支援

実施日	内 容	参加人数
R5. 10. 17 (オンライン研修) (10/25～11/30オン デマンド配信)	職場の食環境整備と受動喫煙防止対策セミナー ①講義 ナッジを利用した食環境整備 ～医療施設内コンビニエンスストアの事例～ 講師 地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研 究センター 川畑 輝子 氏 ②講義 受動喫煙の害についてと新型たばこの有害性 などについて 講師 国立保健医療科学院 生活環境部 上席主任研究官 稲葉 洋平 氏 対象：北部ブロック及び近隣保健所管内市町、給食 施設、健康経営認定事業所等	参加者 34人
R6. 1. 30	北部保健医療圏地域・職域連携推進会議 ・働く人の健康づくりに関するアンケート調査結果の 報告 ・講話「北部保健医療圏の健康課題について」 講師 埼玉県衛生研究所 企画・地域保健担当職員 ・各機関における働く世代に対する保健事業の取組と	参加者 17人 保健所 職員 7人

R6. 2. 28	<p>課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率向上について ・意見交換 <p>対象 熊谷労働基準監督署、協会けんぽ埼玉支部、圏域内商工会議所・商工会、東都大学、圏域内市町（国保、保健）</p> <p>働き盛り世代の健康づくり推進研修会</p> <p>①健康経営の推進について ～健康課題の見える化と職員の健康に関する意識の向上～ 講師 埼玉県立大学 健康開発学科 准教授 津野 陽子 氏</p> <p>②事業所における健康経営の取組の好事例について 発表者 永田紙業株式会社・明成物流株式会社 社長室長 佐藤 英 氏</p> <p>③情報交換</p> <p>対象：北部ブロック管内事業所健康づくり担当者、産業保健総合支援センター、協会けんぽ埼玉支部、市町関係職員、保健所職員</p>	参加者 29人 保健所職員 7人
-----------	--	---------------------------

イ 特定健診受診率向上事業

実施日	内容	参加人数
R5. 8. 9	<p>管内市町健康づくり・栄養担当者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、特定保健指導実施状況について ・各種保健事業の実施状況について ・各種計画の進捗状況について <p>対象 管内市町国保・保健衛生主管課担当者、栄養業務担当者等</p>	参加者 11人
R5. 9. 13 (集合形式)	<p>令和5年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業拠点保健所別研修会（国保医療課・国保連合会主催）</p> <p>対象 北部ブロック市町村国保・保健担当者グループワーク</p> <p>「第3期データヘルス計画の策定に向けて」</p> <p>助言者 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 福田 吉治 氏</p> <p>令和5年度都道府県国保ヘルスアップ支援事業（国保医療課主催）</p>	36人

R5. 10. 30	・特定健診未受診者受診勧奨及び特定保健指導未利用者勧奨中間報告会	
R6. 3. 11	・特定健診未受診者受診勧奨及び特定保健指導未利用者勧奨年度末報告会	

ウ 効果的な保健指導実施支援事業

実施日	内容	参加人数
R6. 1. 19 リモート研修	保健指導スキルアップ研修会（東松山保健所主催） 対象 管内市町及び医療機関保健指導従事者 ①講話 「対象者の自己効力感を高める支援 勇気づけ保健指導の視点から」 講師 株式会社ウエルネスライフサポート研究所 代表取締役 加倉井 さおり 氏 ②講話 「小さなことから行動変容を促す減塩指導」 講師 女子栄養大学 食生態学研究室 准教授 林 芙美 氏	管内参加者 6人
R6. 2. 1	保健指導者実務者研修会（本庄保健所主催） 対象 管内市町及び医療機関保健指導従事者 講話 「糖尿病重症化予防についての最新情報」 講師 西部総合病院 院長 犬飼 敏彦 氏	管内参加者 13人

エ 健康長寿サポーター養成講座

R5. 4. 18	健康長寿サポーター養成講座 対象 保健所実習生（保健師、管理栄養士等）	55人
R5. 7. 26	対象 埼玉未来大学	54人

(7) 受動喫煙防止対策

ア 改正健康増進法及び県条例に基づく受動喫煙防止対策の説明、リーフレット配布。

対象者（施設）	回数	参加施設
食品営業許可更新時等に食品衛生責任者 給食施設、栄養関係団体、事業所、市町等	3回 4回	50施設 217施設
事業者（飲食店・事業所等）からの個別相談		11施設
埼玉県受動喫煙防止対策実施施設認証制度 認証数		18施設

埼玉県受動喫煙防止対策条例に基づく届出、周知 喫煙可能店に関する届出の説明、受理 受動喫煙対策に関する通報(苦情)対応	50 施設 2 施設 8 件 (現地調査 1 件 2 回)
---	-------------------------------------

イ 受動喫煙防止対策推進のため研修会を実施

実施日	内容	参加人数
R5. 10. 17 (オンライン研修) (10/25～11/30オン デマンド配信)	「職場の食環境整備と受動喫煙防止対策セミナー」として実施、地域・職域連携推進事業 ア 働く世代の健康づくり支援を参照	34 人

(8) 栄養士・調理師養成施設の指導

ア 管理栄養士公衆衛生実習指導

女子栄養大学	令和5年10月10日～10月27日	10日間	3人
東都大学	令和5年10月10日～10月19日	5日間	3人

イ 栄養士法・調理師法に基づく届出の進達

栄養士養成施設	東都大学、埼玉県栄養専門学校
調理師養成施設	埼玉県調理師専門学校

2 歯科保健の推進

地域歯科保健連携支援事業

保健所・市町・地域歯科医師会との連携を図り地域における歯科保健の推進を目的に、地域歯科保健連携会議を実施した。

実施日	内容・対象者	参加人数
R5. 12. 14	(1) 各機関における新型コロナウイルス感染症の経験を経ての歯科保健事業の現状と課題について (2) 講話 「地域で暮らす障害者の歯科診療と口腔ケアについて」 講師：埼玉県社会福祉事業団 皆光園 医幹 山口 武人 氏 (3) グループディスカッション テーマ：地域における障害者の歯科口腔保健について 対象 熊谷市歯科医師会及び大里郡市歯科医師会、県歯科衛生士会北部支部、市町保健衛生、高齢、障害福祉、地域包括支援センター担当職員、保健所職員等	27 人

3 母と子の健康を守るために

(1) 母子を対象とする医療給付

ア 結核児童療育医療

18歳未満の結核に罹患している児童に対し、入院の医療給付を行うものである。
令和5年度の申請件数は0であった。

イ 小児慢性特定疾病医療費助成

児童福祉法の規定に基づき、慢性疾患にかかっていることにより長期にわたり療養を必要とする児童等の健全な育成を図ることを目的に医療費支給を実施した。

令和5年度（単位：件）

	疾患群	管内	熊谷市	深谷市	寄居町
	総数	315	153	138	24
01	悪性新生物	59	31	25	3
02	慢性腎疾患	17	9	6	2
03	慢性呼吸器疾患	9	3	5	1
04	慢性心疾患	57	24	29	4
05	内分泌疾患	50	24	21	5
06	膠原病	6	3	3	0
07	糖尿病	19	8	9	2
08	先天性代謝異常	5	2	3	0
09	血液疾患	7	3	4	0
10	免疫疾患	1	1	0	0
11	神経・筋疾患	29	13	10	6
12	慢性消化器疾患	31	18	12	1
13	染色体又は遺伝子変化を伴う症候群	14	7	7	0
14	皮膚疾患	1	0	1	0
15	骨系統疾患	9	6	3	0
16	脈管系疾患	1	0	0	0

<対象疾病：788 疾病（16 疾患群）>

ウ 埼玉県不妊治療費助成事業

平成16年度に当事業を開始したが、不妊治療について令和4年4月1日から保険適用になったことを受け、令和5年9月30日に当事業が廃止となった。

経過措置として、2件の助成を行った。

令和5年度（単位：件）

	計	熊谷市	深谷市	寄居町
特定不妊治療申請件数	2	2	0	0

(2) 虐待予防の視点に立った母子保健事業

ア 妊娠期からの虐待予防強化事業

県内全産科医療機関と地域保健機関等が連携し、妊娠期の段階から支援が必要であると判断される家庭を積極的に把握し、訪問指導を行っている。具体的には、医療機関から送付される連絡票により市町が訪問指導等を実施し、早期の育児不安等の軽減や、児童虐待の予防を図っている。

市町名	連絡件数
熊谷市	155件
深谷市	122件
寄居町	31件
計	308件

イ 妊娠期からの虐待予防強化事業に関する困難事例の検討会

管内市町各1回、合計3回実施。

ウ 母子保健連携調整会議（妊娠期からの虐待予防強化事業における研修会と合同）

管内市町の母子保健及び福祉担当職員並びに産科医療機関職員等を対象に、母子保健の充実強化及び妊娠期からの虐待予防強化事業の円滑実施を図ることを目的に開催した。

年月日	内 容	人数
R5. 5. 29	1 情報交換・意見交換 2 講話「精神不調を伴う困難事例への相談支援」 講師：菊池臨床心理オフィス 臨床心理士 菊池礼子氏	20人
R6. 1. 29	事例検討会「母子保健業務の中で、関り困難や、対応に苦慮したケース」 事例提供：熊谷市母子健康センター、深谷市保健センター（各1事例） 講師：菊池臨床心理オフィス 臨床心理士 菊池礼子氏	17人

エ 要保護児童対策地域協議会への出席等

虐待予防を目的とした各市町の要保護児童対策地域協議会に出席した。

(単位：回)

	代表者会議	実務者会議	定例会	個別ケース会議
熊谷市	1	2	10	0
深谷市	1	12	—	0
寄居町	1	3	—	0

オ 小児慢性特定疾病児童等ピアカウンセリング事業

小慢児童等を養育している親等が、抱えている不安や悩みについて、同様の経験のある養育者等から助言を受け、養育の負担軽減を図ることを目的に、埼玉県障害難病団体協議会と草加保健所と協力し、全4回実施した。そのうち2回を熊谷保健所で実施した。

年月日	内 容	人数	対象者
R5. 10. 28	講演：「持病のあるお子さんの就学準備」 講師：埼玉県立けやき特別支援学校 特別教育コーディネーター 竹村由香理氏	23人	小慢児童等を養育する親等、ピアカウンセラー等
R5. 11. 4	講演：「病気をもつ子のきょうだい支援」 講師：NPO法人しぶたね 清田悠代氏	15人	

カ 長期療養児教室

医療的ケア児等の支援者が、災害における公助と共助への取り組みや自助を促すための課題を共有し、さらなる支援につなげることを目的として、研修会を実施した。

年月日	内 容	人数	対象者
R5. 10. 10	講演「医療的ケア児の災害対策の現状と課題～自助・公助・共助について考える～」 講師：埼玉医科大学総合医療センター 小児診療看護師 小泉恵子 氏 報告 保健所における災害対策の取り組み 情報交換 管内市町の取り組み等	27人	医ケア児の在宅療養に関わる管内市町障害福祉課・危機管理課職員、訪問看護職員、相談支援事業所職員、小児科病棟のある医療機関等

キ 母子保健に関する個別支援状況

(単位：件)

	妊婦		産婦		未熟児		乳児		幼児		その他		計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
訪問	—	—	—	—	—	—	9	10	5	5	1	1	15	16
面接	—	—	—	—	—	—	16	16	7	7	32	32	55	55
電話等	延 66													

(3) 子どもの心の健康相談

精神的な問題があると思われる児童、またはその児童に関わる関係者の相談に対応した。

ア 専門相談

嘱託医や臨床心理士による専門相談を行った。

実施回数		10	相談内容内訳		件数
従事者内訳 (延人数)	精神科医・小児科医	5	社会化の問題		8
	臨床心理士	5	習癖の問題		2
	保育士	7	発達の問題		1
	保健師	14	性の問題		1
利用者	実人数	10	その他		2
	延人数	10			
			合 計	14	

イ ケースカンファレンス

市町職員等の関係者とケースカンファレンスを行った。

延 1 件

ウ 随時相談

(単位：人)

実 数	延人数	延人数内訳		
		電話	面接	訪問
136	137	66	55	16

< (2) キの再掲 >

(4) 子どもの心のネットワーク事業

子どもの心の健康問題に携わる関係機関は、保健・医療・福祉・教育・警察等多岐に及んでいる。そのため、関係機関がネットワークを構築し、小児精神保健医療に関する共通の認識・情報共有を図ることを目的に実施した。

ア 小児精神保健医療推進連絡会議

年月日	内 容	人数	対象者
R5. 11. 30	①情報交換 「不登校の相談先、フリースクール等」 ②「熊谷保健所管内こども支援者まっぷ」の改訂	48人	管内市町母子保健・福祉担当職員、教育委員会、療育施設、警察職員、小中学校職員、保健所職員

イ 子どもの心の問題に関する研修会

年月日	内 容	人数	参加者の所属
R5. 11. 30	講義「小中学生のメンタル不調に伴う心配な変化と対応について」 講師：熊谷神経クリニック 精神科医師 奥野洋子氏	51人	管内市町母子保健・福祉担当職員、教育委員会、療育施設、警察職員、小中学校職員、保健所職員

4 心の健康を守るために

(1) 心の健康相談

(単位：人)

	実 人 員	延べ人員													再 掲		
		老 人 精 神 保 健	社 会 復 帰	ア ル フ レ ッ シ ア	薬 物	ギ ャ ー	ゲ ー	思 春 期	心 の 健 康 づ く り	う つ ・ う つ 状 態	摂 食 障 害	て ん か ん	そ の 他	合 計	ひ き こ も り	発 達 障 害	自 殺 関 連
面 接	85	15	29	10	0	1	0	3	13	0	0	1	140	212	9	5	1
訪 問	76	14	38	6	0	0	0	0	41	9	0	0	134	242	6	4	2
電 話	292	81	99	39	3	3	0	12	100	7	1	1	342	688	22	17	13
メ ル	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	6	12	4	0	0

(2) 精神障害者の医療等の状況

ア 精神保健福祉法に基づく申請及び通報等

(単位：件)

	通報申請 件数	診察 不要	措置診察結果			本鑑定 (再掲)
			緊急 措置	措置 入院	不要 措置	
一般人の申請 (22条)	—	—	—	—	—	—
警察官の通報 (23条)	88(34)	44(20)	4(2)	32(8)	5(2)	3
検察官の通報等 (24条)	10	0	—	8	2	—
矯正施設の長の 通報等(26条)	10	10	—	—	—	—
計	108(34)	54(20)	4(2)	40(8)	7(2)	3

* () 内は埼玉県精神科救急情報センター対応

イ 入院届、定期病状報告等届出件数

(単位：件)

入 院 届		退院届	定期病状報告		計
医療保護入院	応急入院		措置入院	医療保護入院	
881	4	859	15	504	2263

(3) ひきこもり対策事業

ひきこもり当事者・家族及び関係者が、正しい知識の獲得と対応方法の助言を受けるために、ひきこもり専門相談等を実施した。

ア ひきこもり相談

- ・専門相談 5回 延べ5件
- ・随時相談 来所：延べ7件 電話：延べ41件 訪問：延べ5件

イ ひきこもり支援者懇話会

形式的な枠組みにとらわれず支援者同士が顔を合わせて悩みや課題を共有できる場として、令和3年11月より実施している。

実施日	内 容	対象者	参加人数
R5. 7. 10	【第1回】 (1) 各事業所の取組と情報交換 (2) 教育関係者のひきこもり支援者懇話会への参加について (3) 令和5年度第2回ひきこもり支援者懇話会及び研修会の実施について	深谷若者サポートステーション、寄居町社会福祉協議会、生活困窮者自立相談支援機関、管内市町担当者	15人
R5. 12. 11	【第2回】 (1) 埼玉県ひきこもり支援、市町村の取組状況等について (2) 体験発表 (3) 講義「思春期（小～高校生）の不登校児の心理と対応」 講師：ひきこもり専門相談員 菊池 礼子 氏 (4) 懇話会	深谷若者サポートステーション、寄居町社会福祉協議会、生活困窮者自立相談支援機関、管内市町担当者、管内障害者基幹相談支援センター、管内教育研究所、医療機関、訪問看護ステーション他	49人

ウ ひきこもり支援者研修会

ひきこもり支援者懇話会（第2回）と合わせて開催した。

(4) 埼玉県措置入院者退院後支援事業

ア 措置入院に対する退院後の支援の実施（調整会議）

会議の開催 31回 支援計画作成 5件

イ 所内ケースカンファレンス 10回

精神医療センター医師の技術協力を得て、措置入院ケースの処遇について検討した。

(5) 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業

今年度から(4)埼玉県措置入院者退院後支援事業の一環で実施していた「精神障害者支援地域協議会」と(5)精神障害者を地域で支えるシステム構築事業の一環で実施していた「精神障害者地域支援体制構築会議」を統合し『精神保健福祉会議』として開催することとなった。

ア 精神保健福祉会議（代表者会議）

実施日	内 容	参加者	参加人数
R5. 11. 14	(1)熊谷保健所管内における通報対応の現況について (2)精神保健福祉法改正について (3)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの概要やメンタルヘルス課題への連携や仕組みづくり (4)熊谷保健所における精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取組について (5)大里地域自立支援協議会精神障害者地域支援体制構築整備部会の報告 (6)意見交換	管内精神科医療機関の長、管内機関相談支援センター代表者、家族会会長、管内市町保健・福祉主管課長、管内警察署生活安全課長、訪問看護ステーション管理者	35人

イ 精神保健福祉会議（実務者会議）

実施日	内 容	参加者	参加人数
R5. 6. 19	(1)精神保健福祉事業実績と今年度計画 (2)精神保健福祉会議（代表者会議）について (3)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて (4)ひきこもり支援者懇話会の実施について	管内精神科病院職員、管内相談支援センター職員、市町担当者、障害者福祉推進課、精神保健福祉センター職員	28人

ウ 精神障害者に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修

実施日	内 容	参加者	参加人数
R6. 2. 7	(1) 講義 実践報告 (精神科医療機関、行政機関、地域機関) (2) 演習 グループディスカッション、まとめ	精神科医療機関職員 、管内市町担当者、 相談支援専門員、訪 問看護ステーション 職員、地域包括支援 センター職員等	41人

エ 大里地域自立支援協議会事務局会議

事務局会議に出席した。

実施日	内 容	参加機関
R5. 10. 3	(1) 各市町及び地域移行、就労関連における部会の進捗状況 (2) 障害を持つ方を支える地域作りの進捗状況 (3) 障害福祉の支え手となる人材の育成の進捗状況	大学、基幹相談支援センター、障がい者就労・生活支援センター、グループホーム、管内市町福祉主管課、保健所
R6. 2. 14	(1) 各市町部会の進捗状況報告 (2) 障害を持つ方を支える地域作りの進捗状況 (3) 障害福祉の支え手となる人材の育成の進捗状況	所

オ 大里地域自立支援協議会精神障害者地域支援体制整備部会

管内市町の共同設置により運営する部会及びその事前検討会に出席した。

実施日	内 容	参加機関
R5. 8. 30	精神障害者地域体制整備部会についての趣旨説明事例検討及び地域課題の抽出	管内精神科病院、移行支援事業所、基幹相談支援センター、保健所
R5. 11. 29	事例検討及び地域課題の抽出	、市町福祉主管課・保健主管課
R6. 3. 8	事例検討及び地域課題の抽出 振り返り	

(6) 県北保健所ブロック会議

実施日	内 容	参加機関
R5. 5. 31	(1)各保健所の事業実績報告・事業計画共有 (2)管内市町村の活動状況 (3)ひきこもり専門相談状況や市町村の取組み (4)精神保健福祉法改正の内容共有 (5)精神保健福祉センター主催研修周知	本庄保健所、秩父保健所、熊谷保健所、疾病対策課、障害者福祉推進課、精神保健福祉センター 計9名

(7) 市町等関係機関との連携

ア 事例検討会等への支援

随時電話やケース検討会議等で助言を行った。

イ 自殺予防対策に関する支援

令和5年11月1日 深谷市自殺対策ネットワーク会議へ参加

令和6年2月16日 熊谷市自殺予防対策連絡協議会へ参加

ウ 地域包括支援センターへの技術支援

随時実施。

エ 断酒会・AA との協力

事業パンフレットの配布等の協力。

難病患者のQOL（生活の質）を向上するために

(1) 指定難病医療給付事業

国が指定した疾患の患者に対して、効果的な治療方法が確立されるまでの間、長期の療養による医療費の経済的な負担を軽減するための支援として医療給付制度の活用を図った。

なお、令和5年度の継続申請は委託となり継続申請受付センターへ郵送での申請となり、変更がある場合など一部保健所受付となった。出張受付は廃止となった。

ア 指定難病申請受付数 令和6年3月31日現在（単位：件）

新規申請	継続申請	軽症者特例申請	高額かつ長期	計
406	618	65	89	1,178

イ 指定難病申請審査結果対応 令和6年3月31日現在（単位：件）

補正	申請督促	不認定	取下書提出	計
43	10	15	0	68

ウ 指定難病変更受付数 令和6年3月31日現在（単位：件）

疾患追加	保険変更	その他変更	再交付申請	計
9	312	56	20	397

エ 他県転入・転出、返納申請数 令和6年3月31日現在（単位：件）

他県からの転入	返納申請	計
24	90	114

オ 療養費支給申請数 令和6年3月31日現在

療養費請求申請者	238件
----------	------

カ 指定難病医療給付受給者数

難病の患者に対する医療等に関する法律が平成27年1月1日より施行され、令和6年3月31日現在、指定難病医療給付受給者数は下表のとおりとなった。

なお、下表は管内に受給者のいない疾患については省略したものである。

令和6年3月31日現在（単位：人）

疾患 番号	疾 患 名	熊谷市	深谷市	寄居町	計
	総 数	1,363	979	246	2,588
1	球脊髄性筋萎縮症	3	1	0	4
2	筋萎縮性側索硬化症	16	4	1	21
3	脊髄性筋萎縮症	2	1	0	3
4	原発性側索硬化症	1	0	0	1
5	進行性核上性麻痺	11	9	2	22
6	パーキンソン病	157	115	30	302
7	大脳皮質基底核変性症	2	1	2	5
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	0	2	2
11	重症筋無力症	50	36	9	95
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	27	29	11	67
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 ／多巣性運動ニューロパチー	10	5	2	17
15	封入体筋炎	2	0	0	2
17	多系統萎縮症	15	11	1	27
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	22	26	4	52
19	ライソゾーム病	1	2	2	5
20	副腎白質ジストフィー	1	0	0	1
21	ミトコンドリア病	1	2	0	3
22	もやもや病	21	17	2	40
23	プリオン病	2	0	0	2
28	全身性アミロイドーシス	1	4	1	6
29	ウルリッヒ病	1	0	0	1
34	神経線維腫症	5	4	0	9
35	天疱瘡	7	4	2	13
37	膿疱性乾癬（汎発型）	4	1	0	5
40	高安動脈炎	1	3	0	4
41	巨細胞性動脈炎	4	3	0	7
42	結節性多発動脈炎	3	5	0	8
43	顕微鏡的多発血管炎	7	6	5	18
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	3	0	9
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	9	0	18

疾患 番号	疾 患 名	熊谷市	深谷市	寄居町	計
46	悪性関節リウマチ	7	4	2	13
47	バージャー病	0	1	0	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	1	0	1
49	全身性エリテマトーデス	103	66	19	188
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	50	28	9	87
51	全身性強皮症	52	32	11	95
52	混合性結合組織病	16	11	1	28
53	シェーグレン症候群	12	7	5	24
54	成人スチル病	8	10	1	19
55	再発性多発軟骨炎	2	1	0	3
56	ベーチェット病	17	15	4	36
57	特発性拡張型心筋症	13	16	3	32
58	肥大型心筋症	3	2	3	8
60	再生不良性貧血	13	12	5	30
61	自己免疫性溶血性貧血	2	2	1	5
63	特発性血小板減少性紫斑病	23	19	5	47
65	原発性免疫不全症候群	2	1	0	3
66	IgA 腎症	16	5	5	26
67	多発性嚢胞腎	23	14	4	41
68	黄色靭帯骨化症	7	5	2	14
69	後縦靭帯骨化症	52	25	5	82
70	広範脊柱管狭窄症	9	5	0	14
71	特発性大腿骨頭壊死症	27	24	9	60
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	1	0	0	1
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	2	0	0	2
75	クッシング病	2	1	0	3
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6	2	0	8
78	下垂体前葉機能低下症	29	17	6	52
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	3	1	0	4
83	アジソン病	1	0	0	1
84	サルコイドーシス	35	27	8	70
85	特発性間質性肺炎	25	16	4	45
86	肺動脈性肺高血圧症	11	3	1	15
88	慢性血栓栓性肺高血圧症	1	4	2	7
89	リンパ脈管筋腫症	2	2	1	5
90	網膜色素変性症	18	12	5	35

疾患 番号	疾 患 名	熊谷市	深谷市	寄居町	計
91	バッド・キアリ症候群	0	1	0	1
92	特発性門脈圧亢進症	2	1	0	3
93	原発性胆汁性胆管炎	18	15	4	37
94	原発性硬化性胆管炎	1	0	0	1
95	自己免疫性肝炎	15	6	0	21
96	クローン病	60	53	9	122
97	潰瘍性大腸炎	184	122	21	327
98	好酸球性消化管疾患	1	2	0	3
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	1	0	1
107	若年性突発性関節炎	3	2	1	6
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	1	0	1
113	筋ジストロフィー	8	4	2	14
117	脊髄空洞症	1	2	1	4
127	前頭側頭葉変性症	2	0	1	3
136	片側巨脳症	0	1	0	1
140	ドラベ症候群	1	0	0	1
145	ウエスト症候群	0	1	0	1
158	結節性硬化症	2	2	2	6
159	色素性乾皮症	1	0	0	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	3	6	1	10
163	特発性後天性全身性無汗症	0	1	0	1
167	マルファン症候群	0	2	0	2
209	完全大血管転位症	0	1	0	1
210	単心室症	1	1	0	2
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	2	0	2
215	ファロー四徴症	0	2	0	2
216	両大血管右室起始症	1	0	0	1
220	急速進行性糸球体腎炎	3	5	1	9
222	一次性ネフローゼ症候群	25	15	1	41
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	2	0	2
224	紫斑病性腎炎	2	0	0	2
227	オスラー病	2	2	0	4
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1	0	0	1
230	肺胞低換気症候群	1	0	0	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	0	0	1

疾患 番号	疾 患 名	熊谷市	深谷市	寄居町	計
265	脂肪萎縮症	0	1	0	1
271	強直性脊椎炎	7	5	0	12
277	リンパ管腫症／ゴーム病	0	1	0	1
281	クリッペル・トレノネー・ウエーバー症候群	0	1	0	1
283	後天性赤芽球癆	2	3	2	7
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	0	1	2
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2	0	0	2
296	胆道閉鎖症	0	1	0	1
300	I g G 4 関連疾患	8	5	0	13
301	黄斑ジストロフィー	1	1	0	2
306	好酸球性副鼻腔炎	16	16	2	34
327	特発性血栓症（遺伝的血栓性素因によるものに限る）	1	0	0	1
329	無虹彩症	1	0	0	1

※県単独指定難病受給者 4人 特定疾患受給者（重症急性膵炎）0人

キ 先天性血液凝固性因子欠乏症医療給付受給者数

令和6年3月31日現在

計	熊谷市	深谷市	寄居町
16人	10人	5人	1人

(2) 在宅難病患者支援事業

管内の難病患者（ALS、多系統萎縮症等）における個別支援を通年実施。ALS、多系統萎縮症等の訪問（延べ）70件、電話・面接・相談（延べ）431件。

また、災害対策として、災害時医療機器使用者リスト（人工呼吸器使用者含む）及びハザードマップの対象者のマッピングを更新した。年1回、訪問やおたずねの送付により患者情報を把握し支援を実施している。

併せて、関係機関職員の難病患者への理解を深めるためにコミュニケーションツールをテーマとした研修を開催した。

ア 難病相談事業

a 医療講演会

年月日・場所	内 容	対 象	参加人数
R5. 12. 20(水) 深谷上柴 公民館・ 大会議室2 Zoom ミーティング	テーマ 「神経難病」 講師 いしばし脳神経内科クリニック 院長 石橋 哲 氏 集合形式と Zoom ミーティングのハイブリッド型で研修を開催	神経難病患者 ・その家族及び支援者等	集合) 64名 患者 28名 家族 26名 支援者 5名 関係者 5名 オンライン) 28名 患者 7名 家族 4名 支援者 6名 不明 5名 関係者 6名
R5. 9. 11～ 9. 29 Youtube 限定 公開による オンデマンド 配信	テーマ 「循環器疾患の難病について」 講師 独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター 救急科 部長 和田 浩氏 *埼玉県難病横断支援センターと共催	拡張型心筋症 ・慢性血栓塞 栓性肺高血圧 ・肺動脈性肺 高血圧患者・ その家族及び 支援者等	8名

b 患者家族のつどい

年月日・場所	内 容	対 象	参加人数
R5. 9. 30(土) 熊谷文化創造館 さくらめいと 会議室 1 Zoom ミーティング	ALS患者・家族等北部ブロック交流会 (北部3保健所共催、当番:熊谷保健所) 講演 「ALSの診断と治療 ～最近の治療を踏まえて～」 講師 埼玉県医師会 副会長/ 社会福祉法人シナプス 埼玉精神神経センター センター長 丸木 雄一 氏 交流会	筋萎縮性側索 硬化症の患者・ 家族及び 関係者	集合) 21名 患者2名 家族2名 遺族1名 専門職・ 一般16名 オンライン) 9名 患者3名 家族4名 専門職・ 一般2名

c 難病事業担当者北部ブロック会議

年月日・場所	内 容	対 象	参加人数
【第1回】 R5. 5. 25(木) 熊谷地方庁舎 保健所会議室	第1回(秩父保健所担当) ①各保健所の令和4年度実施状況及び 令和5年度の実施計画について ②ALS北部ブロック交流会について ③情報交換・意見交換	北部3保健所 難病事業 担当者 疾病対策課	8名
【第2回】 R6. 2. 29(木) 熊谷地方庁舎 保健所会議室	第2回(本庄保健所担当) ①各保健所の令和5年度実施状況及び 令和6年度の実施計画について ②ALS北部ブロック交流会について ③情報交換・意見交換	北部3保健所 難病事業 担当者 疾病対策課	7名

イ 関係機関職員研修

年月日・場所	内 容	対 象	参加人数
R5. 9. 14(木) Zoom ミーティング	難病支援者研修会 テーマ 「筋ジストロフィーについて学ぶ」 講師 管内で在宅療養中の筋ジストロフィー 患者2名	市町障害福祉 課、リハビリ スタッフ、 訪問看護師、 介護支援専門 員等	38名 支援者 24名、 講師3名 保健所 職員8名 学生3名
R5. 10. 23(月) 熊谷地方庁舎 大会議室	難病支援者研修会 テーマ 「意思伝達装置とスイッチについて」 講師 ダブル技研 福祉機器事業部 コミュニケーション機器グループ リーダー 木口 貴史 氏	市町障害福祉 課、リハビリ スタッフ、 訪問看護師、 介護支援専門 員、介護福祉 用品取扱業者 等	29名 支援者 27名、 保健所 職員 12名

ウ 熊谷保健所所管区域難病対策地域協議会

年月日・場所	内 容	出席委員数
R6. 1. 26(金) 熊谷地方庁舎 大会議室 Zoom ミーティング	内容 ・在宅（神経）難病患者の日常生活への支援について ・在宅（神経）難病患者の災害時支援対策について ①福祉避難所 ②災害時の情報収集、情報共有の方法 患者代表の阪爪委員のみZoomミーティングで参加	14名

(3) 原子爆弾被爆者援護事業

原子爆弾被爆者援護法に基づき各種手当等の申請受付事務を実施している。

管内被爆者手帳所持者数	17人
健康管理手当等申請	0件
一般疾病医療費助成	0件
介護保険利用助成金	0件
その他の届出	4件

(4) 石綿健康被害救済給付業務

石綿健康被害救済制度に基づき石綿健康被害の相談、健康被害認定申請書等の受付を実施している。

石綿健康被害相談 2 件

申請受付件数 0 件

6 感染症を予防するために

(1) 感染症予防

保健所における感染症予防対策は、平常時対策と発生時対策に大別される。

平常時対策としては、感染症流行状況の把握及び情報提供、知識普及のための教育活動を行っている。

発生時対策としては、疫学調査、健康診断、消毒・保健指導等を行い、感染拡大の防止に努めている。

<平常時対策>

ア 感染症発生動向調査事業

県内の患者発生状況、病原体の検索など流行の実態を早期かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元することにより、感染症の発生及びまん延を未然に防止することを目的に実施している。

週報 15 医療機関、月報 4 医療機関、病原体検査 4 医療機関、疑似症 2 医療機関を定点として報告を依頼し事業を実施している。

令和 5 年度の感染症発生動向調査による検査は 106 検体（病原体検査定点からの検査は 76 検体）実施した。

イ 感染症に関する訓練・研修・連絡会議等

感染症予防に関する正しい知識の普及啓発及び健康危機管理体制の強化を図るため、会議及び研修会を実施した。

年 月 日	内容またはテーマ	対象者	参加人数
R5. 8. 29 13:00～15:00 集合型及び ZOOM によるハイブリッド形式	熊谷保健所管内感染症担当者会議 「新型コロナウイルス感染症の経験から新たな感染症の発生に備えるために」 (1) 新型コロナウイルス感染症への対応の振り返り ア 熊谷保健所における対応について イ 医療機関における入院、診療状況 ウ 訪問看護ステーションによる療養支援状況 エ 救急患者の搬送状況について オ 市町における療養支援とワクチン接種について (2) 改正感染症法に基づく予防計画の策定・改定について (3) 情報交換、その他	管内感染症指定医療機関、二次救急輪番病院、地域医師会事務局、3市町、熊谷市・深谷市消防本部、訪問看護ステーション、県感染症対策課	14 機関 17 人
R5. 9. 13 13:30～16:00 集合型及び ZOOM 形式によるハイブリッド研修	高齢者施設向け新型コロナウイルス感染症対策研修会 1) 報告 「保健所管内高齢者施設における新型コロナウイルス感染症への対応状況」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当 2) 講義 テーマ「新型コロナウイルス感染症における施設内での感染拡大を防止するために」 講師 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 感染管理認定看護師 主査 大沢朗子 氏	高齢者施設職員等	64 人

R5. 10. 26 13:30～16:00	新型インフルエンザ等対策感染症車両取扱い説明会 1) 感染症車両へのアイソレーター付き車椅子 乗り入れ手順の確認	近隣保健所職員	16人
R5. 12. 15 14:00～17:00	新型インフルエンザ等対策患者搬送訓練 1) 埼玉県立循環器・呼吸器病センター感染症病棟 への搬送に係る行程の確認 2) 搬送の際の連絡先、連絡調整手順の確認 3) 患者への対応手順の確認 4) 個人防護具の着脱訓練 5) 搬送後の車両及びアイソレーター車椅子の消毒 手順の確認	近隣保健所職員、 感染所対策課、 医療機関等	46人

ウ 感染症の集団発生状況の把握（新型コロナウイルス感染症を除く）

感染症の集団発生時は、埼玉県感染症集団発生情報把握事務取扱要領に基づき、施設管理者は管轄の社会福祉主管部局及び管轄保健所に報告することになっている。保健所は報告を受けると、状況確認の上、感染症拡大防止策等を指導している。重大な影響を与える恐れがあると認められる場合には、現地指導を行っている。

口頭指導：40施設

<発生時対策>

ア 感染症診査協議会

感染症法第24条により各保健所に設置され、就業制限、入院の勧告・延長、結核患者の医療についての診査を行っている。

令和5年度

開催回数	諮問件数				結核患者の医療 37条の2第1項
	就業制限 18条1項	応急入院 19条	入院		
			20条1項	20条4項	
23回	322 (38) 件	51 (17) 件	51 (17) 件	22 (22) 件	54 (54) 件

() は結核に関するもの（再掲）

イ 感染症法に基づく全数把握対象感染症発生数

令和5年度（単位：件）

類型	感染症名	届出件数	疫学調査件数
二類感染症	結核	38	38
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14	14
四類感染症	E型肝炎	4	4
	オウム病	1	1
	レジオネラ症	6	6
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	1	

五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	2	
	梅毒（先天梅毒含む）	11	

(2) 新型コロナウイルス感染症

令和4年9月26日よりオミクロン株の特性を踏まえて、高齢者等重症化リスクの高い者を守るため、感染症法に基づく医師の届出（発生届）の対象を65歳以上の者、入院を要する者など4類型（①65歳以上の者、②入院を要する者、③重症化リスクがあり、新型コロナウイルス感染症治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要と判断する者、④妊婦）に限定し、保健医療体制の強化、重点化がされた。

さらに、令和5年5月8日より感染法上の位置づけが5類感染症に変更され、感染動向を把握する目的での指定医療機関による届出対象疾患に移行した。当所では高齢者施設等におけるクラスター対策を中心に行い、立ち入り及びCOVMATでの施設同行による現地指導等を実施した。

ア 感染症法に基づく新型コロナウイルス感染症発生患者数 令和5年度（単位：人）

月	4月	5月（5月7日まで）	合計
人数	198 (458)	46 (20)	258 (478)

() 届出対象外登録者

イ 療養場所及び療養支援（5月7日まで）

a 療養場所（重複有、宿泊療養は委託のため集計から除外した。）

入院 37 人、自宅療養 204 人

b 自宅療養者への健康観察

・健康観察実施機関

保健所：142（うち施設 21）人、協力医療機関：13 人、支援センター：49 人

・保健所の健康観察方法

直接架電：78 人、MY-HERSYS・自動架電：64 人

ウ 感染症法に基づいた法的な対応

発生届を受理し、患者等に積極的疫学調査を行った。また、感染症法及び感染症診査協議会の承認等に基づき、入院療養した患者に対し、患者等届出通知書、応急入院勧告通知書、意見を述べる機会付与通知書、本入院勧告通知書、入院期間延長勧告通知書、入院勧告・措置解除通知、就業制限解除通知（療養証明書）を患者等に通知した。

また、患者の入院先医療機関へ公費負担の決定通知を送付した。

エ 電話相談の概数（陽性者調査、施設等の調査含む）（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	428	198	121	116	162	120	57	57	51	129	120	60	1,619

オ 高齢者施設等のクラスター発生予防への対応

患者発生が急拡大し、クラスター対応については、より重症化リスクの高い、高齢者施設を中心に対応した。

施設種別	調査件数	立入り件数	陽性者数 (利用者)	陽性者数 (職員)
特別養護老人ホーム	77	4	269	187
介護老人保健施設	46	2	185	121
有料老人ホーム	28	4	150	82
サービス付き高齢者向け住宅	16	5	187	61
ショートステイ	14	0	53	32
グループホーム	7	2	46	25
軽費老人ホーム	9	0	43	17
デイサービス	43	0	111	63
その他(高齢者施設)	8	1	9	12
その他(保育園、障害者施設等)	7	0	154	57
計	255	18	1,207	657

(3) エイズ及びその他の性感染症予防

エイズ及びその他の性感染症検査を、月に2日実施している。「H I V即日検査」を第2木曜日の午後に、「H I V通常検査及びその他の性感染症検査」を第4火曜日の午前を実施している。令和5年度は、10月及び11月にはH I V即日検査に加え、梅毒即日検査を実施した。電話・メール等相談は随時対応し、性感染症予防の普及啓発に努めている。

ア 性感染症相談件数 令和5年度(単位:件)

	来所	電話	メール	計
件数	6	396	2	404

イ 性感染症検査件数 令和5年度(単位:件)

	H I V抗体 検査	梅毒反応 検査	B型肝炎 抗原検査	C型肝炎 抗体検査	クラミジア 抗体検査
即日検査	53	14			
午前	131	123	122	120	122
夜間					
計	184	137	122	120	122

ウ 普及啓発事業

実施日等	事業内容
R5.6.1~R5.6.7	H I V検査普及週間に合わせ、地方庁舎の電光掲示板に啓発メッセージを流した。

エ 性感染症に関する研修等

感染症予防に関する正しい知識の普及啓発を図るため、研修会を実施した。

年 月 日	内容またはテーマ	対象者	参加人数
R5.12.22 14:00～16:00	<p>テーマ「多様な性と性感染症～性の多様性を尊重した社会を目指して」</p> <p>1) 報告 「埼玉県内の性感染症発生状況について」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当</p> <p>2) 講義 「性の多様性の理解・性感染症について」 講師 特定非営利活動法人 akta 理事長 岩橋恒太氏</p> <p>3) グループワーク 「対応に困った事例・講義から感じたことの共有」</p>	<p>1) 小学校、中学校、高校等の保健主事、保健体育担当教諭、養護教諭等</p> <p>2) 近隣保健所保健師</p>	64人
R5.9.14 9:50～12:40	<p>男衾中学校性感染症講演会</p> <p>1) 講義 「子宮頸がんを予防しよう!!～HPV ワクチンと子宮頸がん検診について」 講師 寄居町役場健康づくり課</p> <p>2) 講義 「性感染症について学ぼう」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当</p>	男衾中学校 全生徒	200人
R6.1.18 13:35～15:25	<p>寄居城北高校性に関する指導講演会</p> <p>1) 講義 「思春期のこころとからだ～高校生活をおくる皆さんへのメッセージ～」 講師 寄居町保健師</p> <p>2) 講義 「性感染症について学ぼう」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当</p>	寄居城北高校 1年生	181人

(4) 肝炎治療特別促進事業

B型及びC型ウイルス性肝炎患者の医療費負担を軽減することを目的に、平成20年4月から開始された。

ア 管内市町別肝炎治療受給者証交付申請件数

令和5年度（単位：件）

計	熊谷市	深谷市	寄居町
176	96	54	26

(参考) 重症化予防推進事業検査費用助成申請件数 (単位: 件)

初回精密検査	定期検査
0	12

イ 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加申請件数 令和5年度 (単位: 件)

新規申請	更新申請	償還払い請求
2	2	4

(5) 結核対策

保健所における結核対策は、結核患者の登録、結核発生动向調査、接触者健康診断、管理検診、結核患者の医療、家庭訪問指導、関係機関との連携、普及啓発等多岐にわたり日々、結核の撲滅を目指して業務を推進している。

NESID年報から

ア 新登録患者数 (市町別活動性分類) 令和5年 (単位: 人)

	活動性結核							潜在性結核感染症 (別掲) 治療中	罹患率 (人口10万対) ※	
	総数	肺結核活動性					肺外結核活動性			
		総数	喀痰塗抹陽性		その他結核菌陽性	菌陰性その他				
			総数	初回治療						再治療
合計	26	22	15	15	0	5	2	4	6	7.1
熊谷市	17	14	10	10	0	3	1	3	4	8.9
深谷市	8	7	4	4	0	2	1	1	1	5.7
寄居町	1	1	1	1	0	0	0	0	1	3.1

※1 潜在結核感染症は除く。

イ 年末現在登録患者数 令和5年12月31日現在 (単位: 人)

	登録者総数	活動性結核							不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症 (別掲)		有病率 (人口10万対) ※2	
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性			治療中	観察中		
			総数	登録時喀痰塗抹陽性		登録時結核菌陽性	登録時菌陰性・その他							
				総数	初回治療									再治療
総数	57	22	19	14	14	0	5	0	3	34	1	4	17	15.6
熊谷市	36	16	13	10	10	0	3	0	3	19	1	2	4	18.7
深谷市	17	4	4	4	4	0	0	0	0	13	0	1	11	12.0
寄居町	4	2	2	0	0	0	2	0	0	2	0	1	2	12.5

※2 潜在結核感染症は除く。

ウ 結核患者等への保健指導実施状況 令和5年度（単位：人） ※（ ）は実人員

区 分	延 人 数
訪 問	148(105)
面 接	28(20)
電 話	517(198)
文 書	15(5)
計	708(328)

エ 結核健康診断

保健所では、結核登録者及び接触者のための健康診断を実施するため、結核相談を実施している。保健所に来所できない方には、委託医療機関で健康診断を実施している。

令和5年度（単位：人）

実施状況	対象者	受診者数	健診内容			健診結果		
			ツベルクリン 反応検査	IGRA	胸部 X線 撮影	患者	発病の おそれ ある者	潜在性 結核感 染症
保健所 38回	管 理	0	0	0	/	0	0	0
	家 族	75	0	75		1	0	1
	接触者	66	0	66		0	0	2
委託医療機関 (随時)	管 理	5	0	0	5	0	0	0
	家 族	14	4	14	0	0	0	0
	接触者	7	0	2	5	0	0	0
計		167	4	157	10	1	0	3

オ 定期の結核健康診断

感染症法第53条の7に基づき、事業者、学校長、施設長（主に社会福祉施設等）及び市町村長等には、定期の健康診断を実施する義務がある。

令和5年度（単位：人）

実施者	対象者	対象者数 (実人員)	受診者数	受診率 (%)	結核患者 発見数	結核発病 のおそれ
事業者	病院等、学校、施設等の従事者	15,366	13,588	88.4	0	0
市町長	65歳以上の住民	116,336	24,824	21.3	0	3
施設長	65歳以上の入所者	2,368	2,048	86.5	0	0
学校長	新入生	5,230	5,178	99.0	0	0
計		139,300	45,638	32.8	0	3

7 現任教育

(1) 県・市町村保健師連絡調整会議（地域別会議）

県・市町村の管理的立場にある保健師を対象に、組織的・計画的・継続的に保健師の人材育成に取り組み、現任教育体制の整備・充実を図ることを目的として会議を開催した。

年月日	内 容	参加人数
R5. 5. 31 10:00～ 12:00	会場：熊谷保健所 会議室 内容：第1回地域別会議 (1) 各所属における現任教育等の現状及び課題について (2) 令和5年度保健師人材育成研修について (3) 各所属における健康危機管理体制の現状について	8人
R6. 2. 21 14:00～ 16:15	会場：熊谷保健所 会議室 内容：第2回地域別会議 (1) 各所属における現任教育等の現状及び課題について (2) 健康危機管理体制づくりについて (3) 「統括保健師」の配置について (4) 情報交換	8人

(2) 熊谷保健所新任期保健師研修会

熊谷・鴻巣・秩父・本庄保健所管内の概ね採用3年目までの保健師を対象に開催した。

年月日	内 容	参加人数
R5. 10. 30 14:00～ 16:00	会場：熊谷地方庁舎 大会議室 テーマ：相談対応の基本 ～実際の相談場面から考える～ 内容：講義とグループワーク 講師：菊池臨床心理オフィス 臨床心理士 菊池 礼子 氏	32人

(3) 拠点保健所における人材育成研修会

熊谷・鴻巣・秩父・本庄保健所管内の中堅保健師を対象にPDC Aサイクルによる効果的な施策展開を図れるようになることを目的として研修を実施した。

年月日	内 容	参加人数
R5. 12. 19 13:30～ 16:15	会場：熊谷児童相談所 地域研修センター テーマ：PDC Aサイクルに基づく保健事業 内容：講義、事例発表及びグループワーク	26人

	講師：東都大学 ヒューマンケア学部 教授 市原 千里 氏 準教授 平塚 久美子 氏 講師 吉羽 久美 氏	
--	---	--

Ⅲ 安心して暮らすための医療の充実

1 医療提供体制の整備

(1) 医療施設数

令和6年3月31日現在

	病院	一般診療所			歯科 診療所	助産所	施術所 (出張専門 を含む)	歯科 技工所
		計	有床	無床				
埼玉県	342 (4.6)	4,637 (62.8)	188 (2.5)	4,449 (60.3)	3,554 (48.2)	228 (3.1)	7,536 (102.1)	1,082 (14.7)
管内	23 (6.3)	267 (73.0)	16 (4.4)	251 (68.6)	191 (52.2)	18 (4.9)	531 (145.1)	57 (15.6)
熊谷市	12	151	10	141	109	11	315	29
深谷市	9	95	6	89	65	5	164	21
寄居町	2	21	0	21	17	2	52	7

(2) 病床数

令和6年3月31日現在

	病 院						一般診療所
	計	精神	結核	療養	感染	一般	
埼玉県	63,645 (862.5)	13,611 (184.5)	84 (1.1)	11,123 (150.7)	130 (1.8)	38,697 (524.4)	2,392 (32.4)
管内	3,922 (1071.6)	1,104 (301.6)	30 (8.2)	496 (135.5)	27 (7.4)	2,265 (618.9)	211 (57.7)

(3) 医療従事者数

令和2年12月31日現在

	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護 師	歯科技 工 士	歯科衛 生 士
埼玉県	13,604	5,575	16,370	2,258	1,767	54,124	13,134	1,186	6,741
(比率)	(185.2)	(75.9)	(222.9)	(30.7)	(24.1)	(736.9)	(178.8)	(16.1)	(91.8)
管内	628	260	774	103	118	2,962	1,128	65	357
(比率)	(170.6)	(70.6)	(210.3)	(28.0)	(32.1)	(806.3)	(307.1)	(17.7)	(97.0)
熊谷市	355	148	473	44	41	1,762	679	36	204
深谷市	242	84	261	47	75	1,022	374	22	115
寄居町	31	28	40	12	2	178	75	7	38

(資料：政府統計の総合窓口 医師・歯科医師・薬剤師調査等)

* (1) から (3) の () の中は、人口10万人対比の数。

* 比率算出に用いた人口は、(1) 及び (2) は令和6年1月1日現在の埼玉県町(丁)字人口調査により(県7,378,619人、管内365,534人)、(3) は令和2年10月1日現在の人口推計による(県7,344,765人、管内368,057人)。

* (2) は医療法第27条に基づく使用許可を受けている病床の数。

(4) 医療安全研修会の実施

令和5年度は、実施なし

(5) 医療安全相談

医療に関する苦情や相談への対応、医療機関の情報を提供しました。

令和5年度相談受付件数	44件
-------------	-----

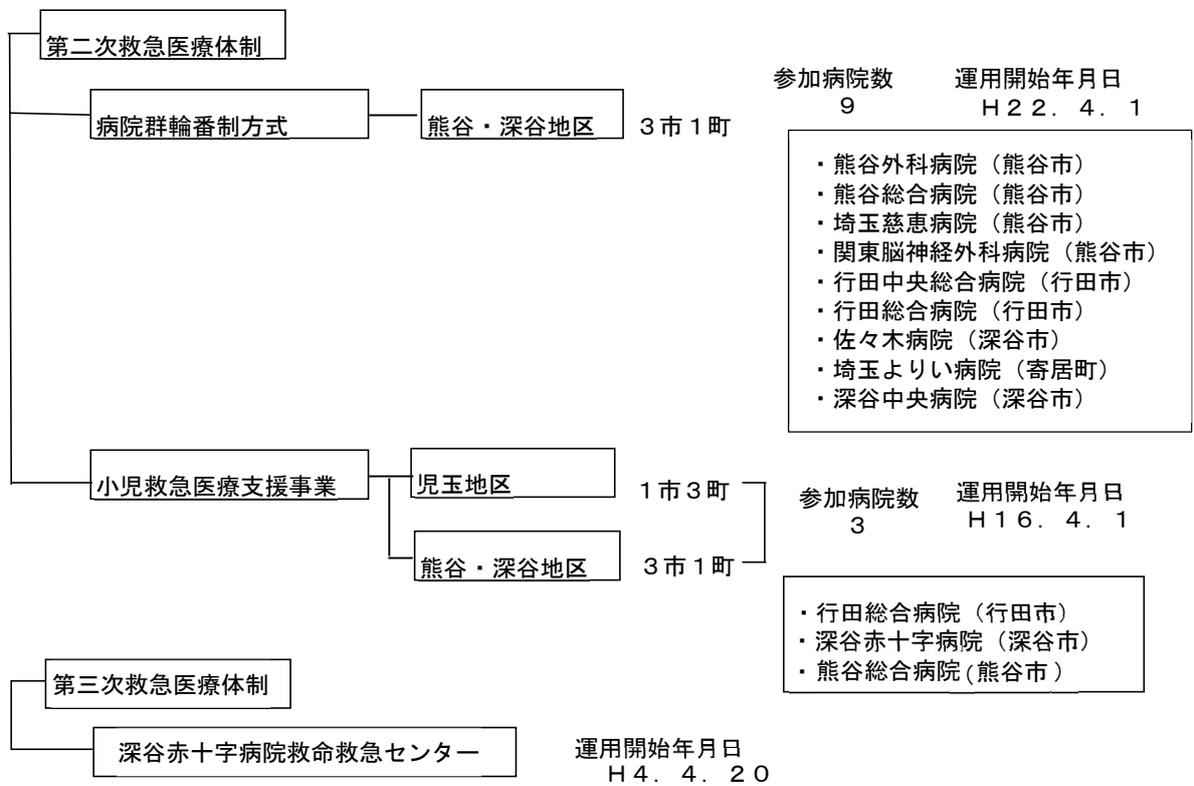
2 免許事務処理状況

令和5年度（単位：件）

厚生労働大臣免許						埼玉県知事免許					
免許の種類	登録	書換	再交付	まっ消	合計	免許の種類	登録	書換	再交付	まっ消	合計
医師	20	3	0	2	25	栄養士	102	16	2	0	120
歯科医師	4	3	1	0	8	准看護師	35	14	5	0	54
保健師	14	14	0	0	28	クリーニング師	2	0	0	0	2
助産師	4	2	0	0	6	調理師	84	13	15	0	112
看護師	158	99	7	0	264	製菓衛生師	30	2	0	0	32
診療放射線技師	13	4	1	0	18	登録販売者	37	3	1	0	41
臨床検査技師	26	5	0	0	31	診療X線技師	0	0	0	0	0
衛生検査技師	0	0	0	0	0	【旧免許】					
理学療法士	39	6	1	0	46	旧保健師	0	0	0	0	0
作業療法士	12	3	0	0	15	旧助産師	0	0	0	0	0
視能訓練士	2	1	0	0	3	旧看護婦	0	0	0	0	0
管理栄養士	9	18	0	0	27	【他知事免許】					
薬剤師	41	12	2	0	55	准看護師	0	6	1	0	7
歯科技工士	0	0	0	0	0						
合計	342	170	12	2	526	合計	290	54	24	0	368

3 熊谷・深谷地区の救急医療体制

(1) 救急医療体制



【熊谷・深谷地区における重症救急事案の受入に関する協定】H28. 10. 18締結

休日や夜間帯の重症案件で、深谷赤十字病院が受入れできない場合、埼玉医科大学総合医療センター（川越市）へ患者を転送する。同センターでの治療で急性期を脱した患者については、管内の医療機関への戻り搬送を推進する。

救急告示病院（12病院）

- ・熊谷外科病院、熊谷総合病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院（熊谷市 5）
- ・深谷赤十字病院、佐々木病院、深谷中央病院、皆成病院（深谷市 4）
- ・埼玉よりい病院（寄居町 1）
- ・行田中央総合病院、行田総合病院（行田市 2）

搬送困難事案受入医療機関

運用開始年月日
H28. 4. 1

行田総合病院

(2) 熊谷・深谷地区救急医療対策協議会

熊谷市、行田市、深谷市、寄居町に係る地域救急医療体制の整備促進及び関係機関との連絡調整等を検討している。

日時・場所	内 容	出席数
R6. 3. 15 19:00～20:00 於 埼玉県熊谷地方庁舎 4階 大会議室	1 熊谷・深谷地区の救急医療について 2 重症救急事案の受入に係る協定の運用状況について 3 小児二次救急医療体制について 4 埼玉県の救急医療の取組について	25名 (委員)

(3) 小児救急医療支援事業

小児の二次救急医療は、熊谷・深谷地区と児玉地区の広域において輪番体制で実施している。

小児科医の確保が難しく輪番日の空白が課題となっていたが、平成22年度より県の医師派遣事業が始まり、深谷赤十字病院に小児科の当直医を派遣し、木曜日の当直を行っていた。

平成26年10月1日からは、小児救急医療支援事業の協力病院であった熊谷総合病院が、医師派遣事業により毎週水曜日に輪番に参加することとなり、2病院から3病院体制で実施可能となった。

さらに、平成27年4月1日からは、日曜日（夜間）も医師派遣事業により深谷赤十字病院で実施することとなった。この結果、輪番日全てに対応可能となった。

その後、平成28年4月1日から、小児科医の不足により、第1・3・5の土曜が空白となっていたが、平成29年4月1日からは、再び、輪番日全てに対応可能となり、現在に至る。

平成29年度～令和5年度小児救急医療支援事業・輪番状況（令和6年3月31日現在）

病院数	輪 番 日							
	月	火	水	木	金	土	日	日
	夜間	夜間	夜間	夜間	夜間	夜間	日中	夜間
3病院	○	○	*○	*○	○	*○	○	*○

*医師派遣事業で実施

(4) 小児二次救急医療担当医会議

小児二次救急医療体制の充実を図るため、輪番体制に参加している3病院医師と保健所等で、現状について意見交換をした。

日時・場所	内 容	構成機関
R6. 3. 22 メール会議 【書面開催】	・埼玉県の救急医療について ・小児二次救急輪番体制について	3病院、幹事市保健センター、医療整備課、熊谷・本庄・加須保健所 8機関

(5) 熊谷・深谷・児玉地区市町小児救急医療支援事業担当課長会議

日時・場所	内 容	構成機関
R6. 3. 22 メール会議 【書面開催】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県の救急医療について ・ 小児二次救急輪番体制について 	熊谷・本庄保健所 管内市町及び行田市 の担当課長、医療 整備課、熊谷・本 庄・加須保健所 12 機関

4 健康危機管理体制の整備

(1) 広域的な健康危機管理訓練の実施

日時・場所	内 容	対象者	人数
R5. 10. 4 13:30～16:30 熊谷保健所 地方庁舎 4 階 大会議室	令和 6 年度熊谷保健所拠点管内災害対応研修 【内容】 講義・演習 災害時の保健活動に関する基礎知識（基本的な 考え方、関係法令等）を理解できる等 (1) 座学 災害時保健活動の基本 (2) 演習 指揮命令系統 (3) 演習 初動活動における役割と行動（アク ション） (4) 座学 リフレクション・アクションプラン (5) 講評 講師：自治医科大学看護学部 春山早苗 氏 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 雨宮有子 氏	熊谷保健所拠点管 内市町保健衛生部 門（主に保健師） 及び危機管理部門 の職員 拠点管内保健所保 健師	35 名
R6. 1. 18 13:30～16:30 熊谷保健所 地方庁舎 4 階 大会議室	令和 6 年度熊谷保健所拠点管内災害対応研修 【内容】 講義・演習 災害時の保健活動に関する基礎知識（基本的な 考え方、関係法令等）を理解できる等 (1) 座学 受援のしくみ (2) 3つの演習 (3) 座学 受援のための体制整備と保健活動 (4) 座学 リフレクション (5) 講評 講師：自治医科大学看護学部 春山早苗 氏 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 雨宮有子 氏	熊谷保健所拠点管 内市町保健衛生部 門（主に保健師） 及び危機管理部門 の職員 拠点管内保健所保 健師	36 名

(2) 防災行政無線の通信訓練

日時・場所	内 容	参加機関
未実施	未実施	未実施

(3) 衛星携帯電話等の通信訓練

日 時	内 容	参加機関
第1回 R5.6.12 第2回 R5.8.24 第3回 R5.10.11 第4回 R5.12.11 第5回 R6.2.13 第6回 R6.3.11	6月から4保健所（鴻巣、熊谷、本庄、秩父）での衛星携帯電話を使った通信訓練及び防災行政無線電話・FAX（地上系・衛星系）による通信訓練を実施。	熊谷・鴻巣・本庄・秩父保健所職員

(4) アクションカードによる所内訓練

令和5年度はアクションカードによる所内訓練は行わなかった。その代わりに、アクションカード改訂検討会を実施し、改訂作業を終了させた。

日 時	内 容	参加者
第1回 R5.6.14 第2回 R5.10.16 第3回 R6.2.19	熊谷保健所アクションカード改訂検討会 【内容】 各自振り分けられたアクションカードを修正 第3回で所内周知を兼ねた報告会を実施した。	熊谷保健所職員 計13名

(5) EMIS入力訓練

医療整備課が主催する病院及び透析医療機関に対するEMIS入力訓練。

<EMIS入力訓練>

日 時	内 容	参加機関
R5.4.26 R5.8.27	医療整備課が行なうEMIS訓練に合わせ、該当医療機関の入力状況を確認した。 未入力医療機関に対し入力促進を行うも、登録100%には至らなかった。 熊谷保健所管内の医療機関の訓練入力状況は、1回目93.9%、2回目84.8%である。	病院 23機関 透析診療所 10機関

(6) 北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議

令和5年度は、北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議の実施はなし。その代わりに、地域災害医療コーディネーターの長島先生方の協力を得て、北部保健医療圏での研修・訓練を実施した。

日時	内容	構成員
R5.9.7 深谷市上柴公民館・上柴生涯学習センター	北部保健医療圏健康危機管理研修・訓練 【内容】講義・演習 大規模災害発生時の地域における災害対応に関する研修 (1) 座学 災害時の初動について (2) 演習 EMIS について 講師：深谷赤十字病院 第一救急部長 長島真理子先生 日本 DMAT 隊員	熊谷・本庄保健所管内34病院の災害業務に関わる実務担当者 熊谷・本庄保健所管内の各市町村災害実務担当者1名程度(オブザーバーとしての参加) 計26名

5 学生実習、医師・歯科医師臨床研修

(1) 看護学生実習の受入れ

学校名	期 間	人数
日本保健医療大学保健医療学部	令和5年5月22日～26日 5日間	3名
東都大学ヒューマンケア学部	令和5年9月14日～18日 5日間	3名
	令和5年9月11日～15日 5日間	3名
早稲田医療技術専門学校	令和5年9月25日～29日 5日間	3名
	令和5年10月2日～6日 5日間	3名

(2) 管理栄養士学生実習の受入れ

学校名	期 間	人数
女子栄養大学栄養学部	令和5年10月10日～27日 内10日間	3名
東都大学管理栄養学部	令和5年10月10日～19日 内15日間	3名

(3) 臨床研修医の受入れ

施設名	期 間	人数
熊谷総合病院	令和5年11月1日～15日 10日間	2名

6 医薬品・血液を安定供給するために

(1) 薬事・麻薬関係施設数等

ア 施設数、許可件数等

令和6年3月31日現在（単位：件）

業 種	項 目		施設数 計	熊谷市	深谷市	寄居町	許可等件数		廃止 件数	監視指 導件数
							新規	更新		
総 数			1,716	986	615	115	72	115	36	334
薬 局			187	96	77	14	7	30	5	100
薬局製剤製造販売業/ 製造業			5	4	0	1	0	2	0	2
店舗販売業			83	44	34	5	1	10	1	23
卸売販売業			22	17	5	0	1	5	1	18
再生医療等製品販売業			4	4	0	0	1	1	0	5
医 療 機 器	高度 管理	販売業	189	116	63	10	10	26	3	91
		貸与業	91	56	29	6	4	17	1	47
	管理	販売業	890	520	308	62	39		13	1
		貸与業	57	29	24	4	5		1	0
毒 物 劇 物	製造業		13	5	5	3	2	0	1	3
	輸入業		1	1	0	0	0	0	0	0
	販売業	一 般	115	67	42	6	2	19	9	36
		農業用品目	45	16	26	3	0	3	1	6
		特定品目	7	5	1	1	0	2	0	2
	電気めつき業		1	1	0	0	0		0	0
	特定毒物研究者		3	3	0	0	0		0	0
	特定毒物使用者		3	2	1	0	0		0	0

イ 麻薬関係施設数等

令和6年3月31日現在

	内 訳	件 数	監視指導件数
麻 薬	麻薬診療施設	137	41
	麻薬管理者	46	
	麻薬施用者	564	
	麻薬研究者	4	1
	麻薬卸売業者	4	6
	麻薬小売業者	148	91
	向精神薬	向精神薬卸売業者	0
向精神薬研究施設		6	3
覚醒剤	覚醒剤研究者	0	
	覚醒剤原料研究者	2	1
	覚醒剤原料取扱者	7	9

(2) 献血状況

管内各市町や関係団体などの協力を得ながら、献血の推進に努めた。

令和6年3月31日現在（単位：人）

		採血者数	200ml	400ml	成分献血
移動採血車	熊谷市	3,229	166	3,063	-
	深谷市	2,580	174	2,406	-
	寄居町	877	58	819	-
献血ルーム		7,226	335	4,349	2,542
合 計		13,912	733	10,637	2,542

IV 衛生的で安全な生活環境の確保

1 安全な食品を提供するために

(1) 旧食品衛生法（令和3年6月1日改正前の食品衛生法）に基づく営業施設

ア 営業施設数

令和6年3月31日現在

業種	内訳	計	熊谷市	深谷市	寄居町
		2,147	1,140	805	202
飲食店営業		1,535	843	556	136
喫茶店営業		136	59	61	16
菓子製造業		177	86	76	15
あん類製造業		0	0	0	0
アイスクリーム類製造業		6	3	3	0
乳処理業		0	0	0	0
乳製品製造業		1	1	0	0
集乳業		1	0	1	0
乳類販売業		74	39	21	14
食肉処理業		14	6	4	4
食肉販売業		63	27	30	6
食肉製品製造業		3	2	0	1
魚介類販売業		55	28	22	5
魚介類せり売り営業		0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業		0	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業		9	3	4	2
清涼飲料水製造業		2	1	1	0
乳酸菌飲料製造業		0	0	0	0
氷雪製造業		0	0	0	0
氷雪販売業		0	0	0	0
食用油脂製造業		4	2	2	0
みそ製造業		4	3	1	0
醤油製造業		1	1	0	0
ソース類製造業		1	1	0	0
酒類製造業		2	0	2	0
豆腐製造業		5	4	0	1
納豆製造業		0	0	0	0
めん類製造業		15	10	5	0
そうざい製造業		33	19	12	2
かん詰又はびん詰食品製造業		4	1	3	0
添加物製造業		2	1	1	0

(2) 改正食品衛生法（以下、新法）に基づく営業施設

ア 営業施設数

令和6年3月31日現在

業種	内訳	計	熊谷市	深谷市	寄居町
			2,237	1,242	802
飲食店営業		1,746	1,004	604	138
調理機能を有する自動販売機		15	7	8	0
食肉販売業		39	24	10	5
魚介類販売業		49	29	17	3
魚介類競り売り営業		0	0	0	0
集乳業		1	1	0	0
乳処理業		1	1	0	0
特別牛乳搾取処理業		0	0	0	0
食肉処理業		10	4	3	3
食品の放射線照射業		0	0	0	0
菓子製造業		190	91	80	19
アイスクリーム類製造業		5	2	0	3
乳製品製造業		2	1	1	0
清涼飲料水製造業		4	1	0	3
食肉製品製造業		3	1	2	0
水産製品製造業		1	1	0	0
氷雪製造業		1	1	0	0
液卵製造業		1	0	0	1
食用油脂製造業		4	2	2	0
みそ又はしょうゆ製造業		6	3	2	1
酒類製造業		5	2	2	1
豆腐製造業		14	10	4	0
納豆製造業		0	0	0	0
麺類製造業		22	9	10	3
そうざい製造業		58	30	23	5
複合型そうざい製造業		5	3	1	1
冷凍食品製造業		2	0	2	0
複合型冷凍食品製造業		1	0	1	0
漬物製造業		40	10	23	7
密封包装食品製造業		5	2	3	0
食品の小分け業		6	3	3	0
添加物製造業		1	0	1	0

イ 新法許可件数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）（単位：件）

	新規許可件数				継続許可件数			
	計	熊谷市	深谷市	寄居町	計	熊谷市	深谷市	寄居町
総計	314	175	106	33	354	209	122	23

(3) 食品衛生に関する条例に基づく営業施設

ア 営業施設数

令和5年3月31日現在

業種	内訳	計	熊谷市	深谷市	寄居町
		49	18	26	5
つけ物製造業		41	12	24	5
魚介類加工業		8	6	2	0

(4) 新法届出施設等（新法第57条に基づく届出）

ア 施設数

令和6年3月31日現在

	計	熊谷市	深谷市	寄居町
		2,288	1,179	910
旧許可業種であった営業	548	287	206	55
販売業	1,256	652	504	100
製造・加工業	221	108	86	27
集団給食施設	234	116	103	15
その他	29	16	11	2

イ 届出件数

(単位：件)

施設		新規届出数	廃止届出数
総数		447	69
内訳	集団給食施設	100	2
	その他の営業	347	67

(5) 食中毒発生状況

発生年月日	患者数	原因食品	病因物質	原因施設	措置
令和5年4月29日	6名	不明	サルモネラ属菌	飲食店	営業停止3日間
令和5年11月5日	6名	不明	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	営業停止3日間
令和5年11月28日	1名	寿司	アニサキス	飲食店	営業停止1日間

(6) 食中毒予防対策

食品営業者、給食従事者、一般県民等に対して、衛生講習を実施した。 (単位：件)

対 象 者	実 施 回 数	参 加 人 数
食品営業者、給食従事者	55	3,161 人
一般県民等	10	1,146 人

(7) 食品監視・検査業務概況

(単位：件)

	合 計	鴻 巣	熊 谷	本 庄	秩 父
監視対象業種	19,157	6,623	6,816	2,789	2,929
監視業種数	2,436	874	893	358	311
無許可営業発見数	1	1	0	0	0
違反施設発見数	0	0	0	0	0
違反食品等発見数	220	—	—	—	—
収去検査検体数	205	46	99	35	25
収去品不適検体数	0	0	0	0	0

(8) 無許可営業発見数

届出施設

	合 計	鴻 巣	熊 谷	本 庄	秩 父
野菜果物販売業	1	1	0	0	0
合 計	1	1	0	0	0

(9) 違反施設（業種）発見処理状況

法による許可を要する業種及び条例による許可を要する業種

(単位：件)

業 種	発 見 数	違反理由				処理内容								
		施 設 基 準	管 理 基 準	製 造 基 準	計	行政処分				その他			計	
						許 可 取 消	営 業 禁 止	整 備 改 善 命 令	小 計	始 末 書 等	口 頭 説 諭	小 計		
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(10) 違反食品などの発見、処理件数

	合計	計	監視発見			収去発見			通報・届出			
			管内製品	管外製品	県外製品	管内製品	管外製品	県外製品	計	管内	管外	県外
発見・通報・届出数	130	63	63	0	0	0	0	0	67	48	2	17
違反理由	合計	130	63	63	0	0	0	0	67	48	2	17
	計	75	63	63	0	0	0	0	12	2	0	10
	不衛生食品等の販売等の禁止	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	化学的合成品等の販売等の制限	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品等の規格及び基準	9	0	0	0	0	0	0	9	1	0	8
	有毒器具等の販売等の禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	器具等の規格及び基準	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示の基準	64	63	63	0	0	0	0	1	1	0	0
	虚偽の又は誇大な表示・広告の禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の違反	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	55	0	0	0	0	0	0	55	46	2	7
	衛生規範	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	苦情	54	0	0	0	0	0	0	54	46	2	6
	その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
処 理 数	130	63	63	0	0	0	0	0	67	48	2	17
処理内容	合計	127	63	63	0	0	0	0	64	47	1	16
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業許可の取消	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業の禁停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品等の廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品等の返品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品等の回収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品等の移動停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	109	63	63	0	0	0	0	46	44	1	1
	始末書など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	口頭説諭	109	63	63	0	0	0	0	46	44	1	1
	計	18	0	0	0	0	0	0	18	3	0	15
	調査指導依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現地調査指導など	5	0	0	0	0	0	0	5	2	0	3
その他	13	0	0	0	0	0	0	13	1	0	12	

- 注: 1 同じ食品などで違反理由が重複した場合は、すべて計上する。
 2 同じ施設で行政処分が重複した場合は、すべて計上する。
 3 同じ施設で行政処分とその他の処理が重複した場合は、行政処分だけを計上する。
 4 同じ施設でその他の処理だけで項目が重複した場合は、上位一つを計上する。

2 安全で良質な水を供給するために

水道等の衛生管理の指導

(単位：件)

種 別	検体数	適	不 適	適合率 (%)
総 数	21	18	3	85.7
上水道	4	2	2	50.0
専用水道	0	0	0	-
簡易専用水道	0	0	0	-
自家用水道	0	0	0	-
その他の水道	0	0	0	-
井戸水等	17	16	1	94.1

3 衛生的な生活環境を確保するために

環境衛生施設

令和6年3月31日現在

種 別		内 訳	合 計	熊谷市	深谷市	寄居町	立入検査数
			1543	849	553	141	481
理容所			324	177	114	33	146
美容所			810	424	325	61	204
クリーニ ング所	一般・特定		45	23	18	4	12
	取次所		95	58	26	11	40
公衆浴場	一 般		2	1	1	0	0
	その他		40	22	9	9	24
興行場			10	8	2	0	2
旅館業	旅館・ホテル		68	38	20	10	33
	簡易宿所		3	1	0	2	2
上水道			3	1	1	1	0
簡易水道			0	0	0	0	0
専用水道			0			0	0
自家用水道			9	9	0	0	0
特定建築物			94	65	20	9	
建築物事業登録			29	16	13	0	7
遊泳用プール（通年施設）			11	6	4	1	11

4 人と動物が共生する社会づくりを進めるために

狂犬病の発生予防及び蔓延を防止するため、市町及び管内獣医師の協力を得て、飼い犬の登録と狂犬病の予防注射の徹底を図っている。

また、熊谷保健所管内は犬の苦情件数収容頭数とも、県内で最も多く、犬の正しい飼い方の普及啓発を実施している。

(1) 犬の登録、狂犬病予防注射及び苦情などの状況 (単位：件)

		計	熊谷市	深谷市	寄居町	管外
年度末登録数		19,339	10,034	7,125	2,180	
注射済票交付数		13,285	6,637	5,620	1,028	
苦情総数		576	250	212	60	54
内 訳	捕獲依頼	102	45	46	10	1
	犬の引取り依頼	20	10	7	3	0
	放し飼い取締依頼	27	16	6	5	0
	咬傷事件関係	31	11	16	2	2
	家畜農作物の被害	0	0	0	0	0
	糞尿関係	18	11	6	1	0
	鳴き声	40	24	10	6	0
	その他	338	133	121	33	51

(2) 抑留犬・収容犬の状況 (単位：件)

		計	熊谷市	深谷市	寄居町	管外
抑留犬総数		60	28	28	4	
内 訳	捕獲数	54	23	27	4	
	飼養放棄犬	6	5	1	0	
返還犬数		35	15	14	1	5

(3) 特定動物（危険な動物）飼養状況 令和6年3月31日現在

許可施設数	動物の種類	頭数（匹）	飼養目的
3	ワニガメ	6	愛がん、展示用
1	ボアコンストリクター	1	愛がん用
2	ブラジルカイマン	2	愛がん、展示用
1	イヌワシ×ソウゲンワシ	1	展示用
1	メガネカイマン	2	展示用

(4) 動物取扱業登録施設数 令和6年3月31日現在

	計	熊谷市	深谷市	寄居町
第一種動物取扱業	173	75	80	18
第二種動物取扱業	8	7	1	0

参 考 资 料

○ 人口動態統計

(1) 人口動態総覧

令和4年(単位：人、%)

区分		全 国 ¹	県	管 内	熊谷市	深谷市	寄居町
人 口	総 数	122,030,523	7,136,000	363,942	192,112	140,137	31,693
出 生	率	6.3	6.1	5.2	5.2	5.3	4.9
	総 数	770,759	43,451	1,902	1,004	742	156
死 亡	率	12.9	11.5	13.5	13.2	13.3	15.7
	総 数	1,569,050	82,221	4,902	2,544	1,859	499
自然増減	率	△6.5	△5.4	△8.2	△ 8.0	△8.0	△10.8
	総 数	△798,291	-38,770	-3,000	-1,540	-1,117	-343
乳児死亡	率	1.8	1.5	2.1	1.0	2.7	6.4
	総 数	1,356	67	4	1	2	1
新生児死亡	率	0.8	0.6	1.1	1.0	1.3	—
	総 数	609	27	2	1	1	—
死 産	率	19.3	20.3	21.1	27.1	15.9	6.4
	総 数	15,179	900	41	28	12	1
周産期死亡	率	3.3	2.8	3.7	3.0	4.0	6.4
	総 数	2,527	124	7	3	3	1
	妊娠満 22 週以後の死産	2,061	102	5	2	2	1
	早期新生児死亡	466	22	2	1	1	0
婚 姻	率	4.1	4.0	3.4	3.6	3.2	2.9
	総 数	504,930	28,823	1,230	684	453	93
離 婚	率	1.47	1.44	1.26	1.36	1.05	1.51
	総 数	179,099	10,259	457	262	147	48
合計特殊出生率		1.26	1.17	1.10	1.10	1.09	1.11

【資料】令和4年 埼玉県保健統計年報 第2編 統計資料(第1章 人口動態統計)第1-4表 人口動態総覧(保健所・市区町村・二次保健医療圏別)

<比率の解説>

出生・死亡・婚姻・離婚の率 = (件数 / 人口) × 1,000

※ 死因別死亡率については、(件数 / 人口) × 100,000

¹令和4年(2022)人口動態統計(確定数)の概況 第1表 ([人口動態総覧](#))

https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei22/dl/03_h1.pdf

乳児死亡率 = (乳児死亡数 / 出生数) × 1,000

※ 乳児死亡は生後1年未満の死亡

新生児死亡率 = (新生児死亡数 / 出生数) × 1,000

※ 新生児死亡は生後4週未満の死亡

自然増減率 = (自然増減数 / 人口) × 1,000

※ 自然増減数は出生から死亡を減じた数

死産率 = (死産数 / 出産数) × 1,000

※ 出産数は出生数に死産数を加えた数

周産期死亡率 = [(後期死産数 + 早期新生児死亡数) / (出生数 + 後期死産数)] × 1,000

※ 後期死産は妊娠満 22 週以後の死産

※ 早期新生児死亡は生後 1 週未満の死亡

合計特殊出生率 = (母の年齢階級別出生数 / 年齢階級別女子人口)

※ 上記の 15 歳～49 歳までの合計

<比率算出に用いた人口>

全国、埼玉県 … 「令和元年人口動態統計(確定数)の概況」(厚生労働省)

管内、市町 … 「令和元年埼玉県の人口動態概況(確定数)」(埼玉県保健医療部保健医療政策課)

<統計表の表章記号>

— 計数のない場合 △ 減を表す場合

(2) 管内人口動態の概況 (対前年比較)

	総数			率		
	令和4年	令和3年	増減	令和4年	令和3年	増減
出生	1,902	2,071	△169	5.2	5.7	△0.5
死亡	4,902	4,605	297	13.5	12.6	0.9
自然増減	△3,000	△ 2,534	△466	△8.2	△6.9	△1.3
乳児死亡	4	1	3	2.1	0.5	1.6
新生児死亡	2	1	1	1.1	0.5	0.6
死産	41	62	△21	21.1	29.1	△8.0
周産期死亡	7	6	1	3.7	2.9	0.8
婚姻	1,230	1,232	△2	3.4	3.4	0
離婚	457	500	△43	1.26	1.37	△0.11
合計特殊出生率	—	—	—	1.10	1.17	△0.07

● 出生数 <減少>

出生数は 1,902 人で前年に比べ 169 人減少し、出生率は人口千人に対し 5.2 で、前年と比べ 0.5 ポイント減少した。

● 死亡数 <増加>

死亡数は 4,902 人で前年に比べ 297 人増加し、死亡率は人口千人に対し 13.5 で、前年と比べ 0.9 ポイント増加した。

● 乳児死亡数 <増加>

乳児死亡数は 4 人で前年に比べ 3 人増加し、乳児死亡率は出生千人に対し 2.1 で、前年と比べ 1.6 ポイント増加した。

● 新生児死亡数 <増加>

新生児死亡数は 2 人で前年に比べ 1 人増加し、新生児死亡率は出生千人に対し 1.1 で、前年から 0.6 増加した。

● 自然増減数 <減少>

自然増減数はマイナス 3,000 人で前年に比べ 466 人減少し、自然増減率は人口千人に対しマイナス 8.2 ポイントで、前年と比べ 1.3 ポイント低下した。

● 死産数 <減少>

死産数は 41 胎で前年に比べ 21 胎減少し、死産率は出産(出生+死産)千人(胎)に対し 21.1 で、前年と比べ 8.0 ポイント減少した。

● 周産期死亡数 <増加>

周産期死亡数は 7 人(胎)で前年と比べ 1 人(胎)増加し、周産期死亡率は出産千人(胎)に対し 3.7 で、0.8 ポイント増加した。

● 婚姻件数 <減少>

婚姻件数は 1,230 件で前年に比べ 2 件減少し、婚姻率は人口千人に対し 3.4 で、前年から増減なし。

● 離婚件数 <減少>

離婚件数は 457 件で前年に比べ 43 件減少し、離婚率は人口千人に対し 1.26 で、前年と比べ 0.11 ポイント低下した。

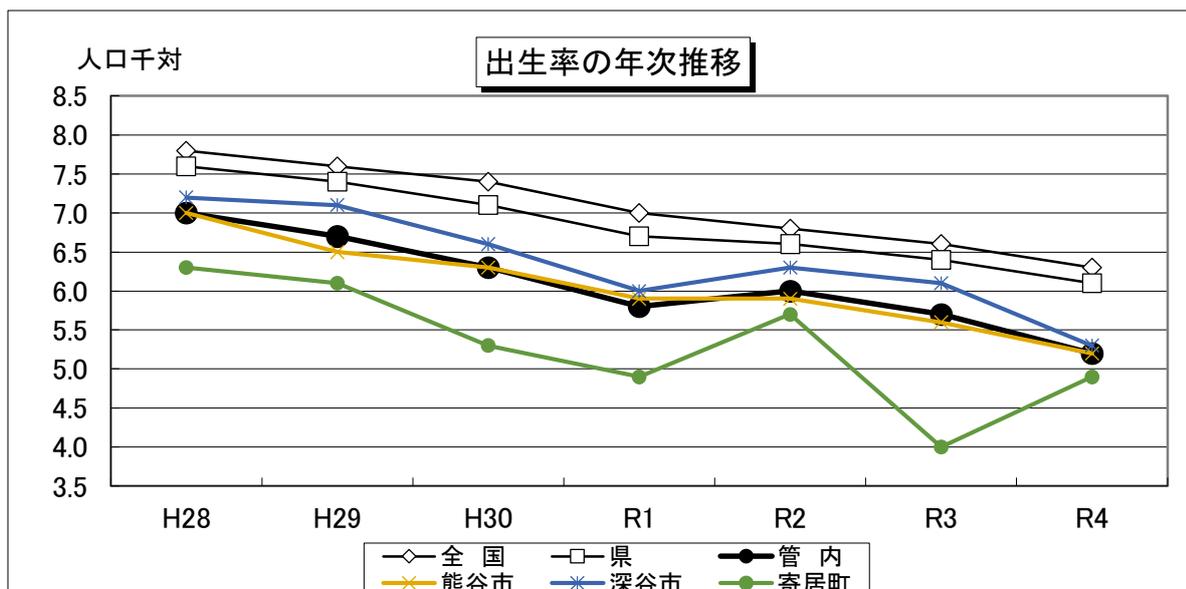
● 合計特殊出生率 <減少>

合計特殊出生率は 1.10 で、前年と比べ 0.07 ポイント減少した。

(3) 出生

ア 出生率の年次推移(人口千対)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国	7.8	7.6	7.4	7.0	6.8	6.6	6.3
県	7.6	7.4	7.1	6.7	6.6	6.4	6.1
管 内	7.0	6.7	6.3	5.8	6.0	5.7	5.2
熊谷市	7.0	6.5	6.3	5.9	5.9	5.6	5.2
深谷市	7.2	7.1	6.6	6.0	6.3	6.1	5.3
寄居町	6.3	6.1	5.3	4.9	5.7	4.0	4.9



イ 体重階級別出生数

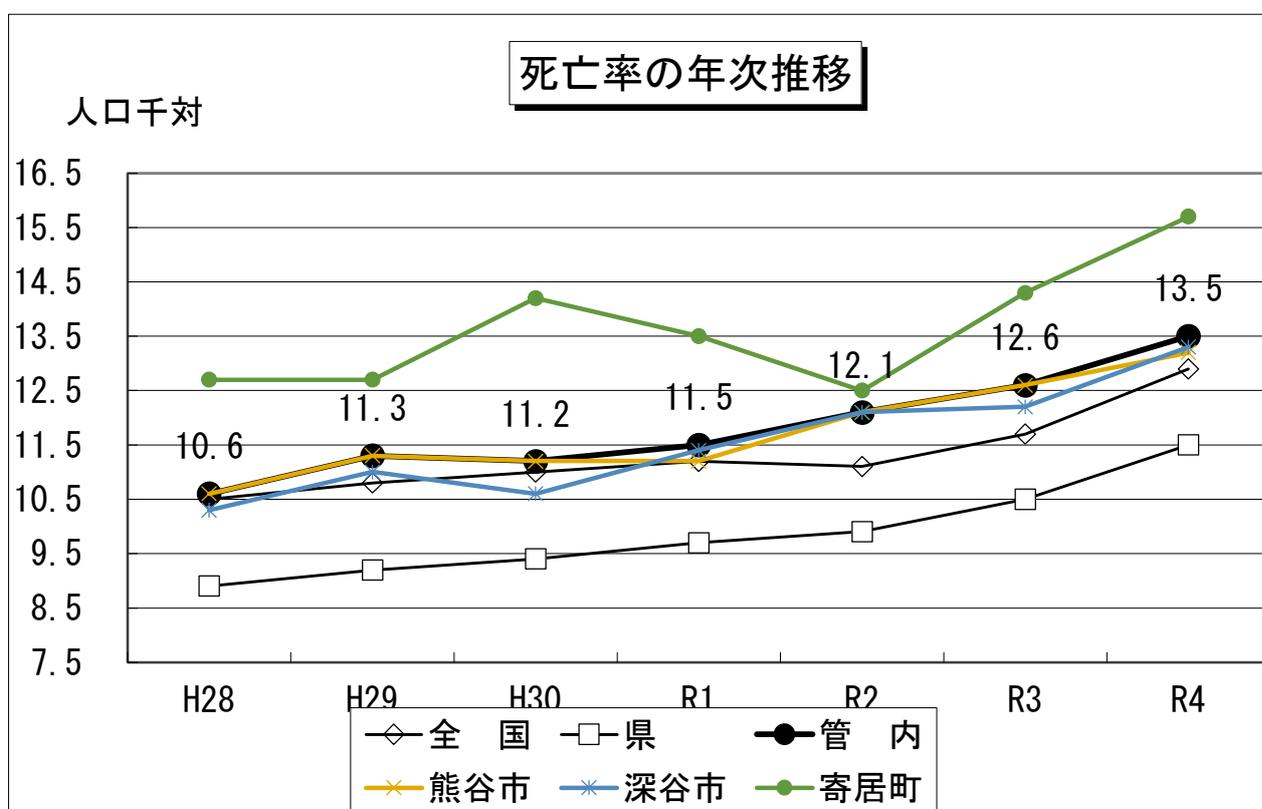
		総数	1,5kg 未満	1.5~1.9	2.0~2.4	2.5~2.9	3.0~3.4	3.5~3.9	4.0kg 以上
管内	平成 27 年	2,677	22	50	250	1,019	1,107	219	10
	平成 28 年	2,634	13	28	231	1,078	1,054	219	11
	平成 29 年	2,500	21	39	211	1,004	985	220	20
	平成 30 年	2,352	13	29	161	960	965	214	10
	令和元年	2,154	20	25	173	873	869	182	12
	令和 2 年	2,169	23	27	188	855	858	210	8
令和 3 年	管内	2,071	11	33	161	809	858	188	11
	熊谷市	1,085	8	15	75	395	481	104	7
	深谷市	857	3	15	79	360	329	68	3
	寄居町	129	0	3	7	54	48	16	1

注)4kg 以上には不詳含む。

(4) 死亡

ア 死亡率の年次推移(人口千対)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国	10.5	10.8	11.0	11.2	11.1	11.7	12.9
県	8.9	9.2	9.4	9.7	9.9	10.5	11.5
管 内	10.6	11.3	11.2	11.5	12.1	12.6	13.5
熊谷市	10.6	11.3	11.2	11.2	12.1	12.6	13.2
深谷市	10.3	11.0	10.6	11.4	12.1	12.2	13.3
寄居町	12.7	12.7	14.2	13.5	12.5	14.3	15.7



イ 死亡順位 5 位までの死亡数及び死亡率(人口 10 万人対)

令和4年

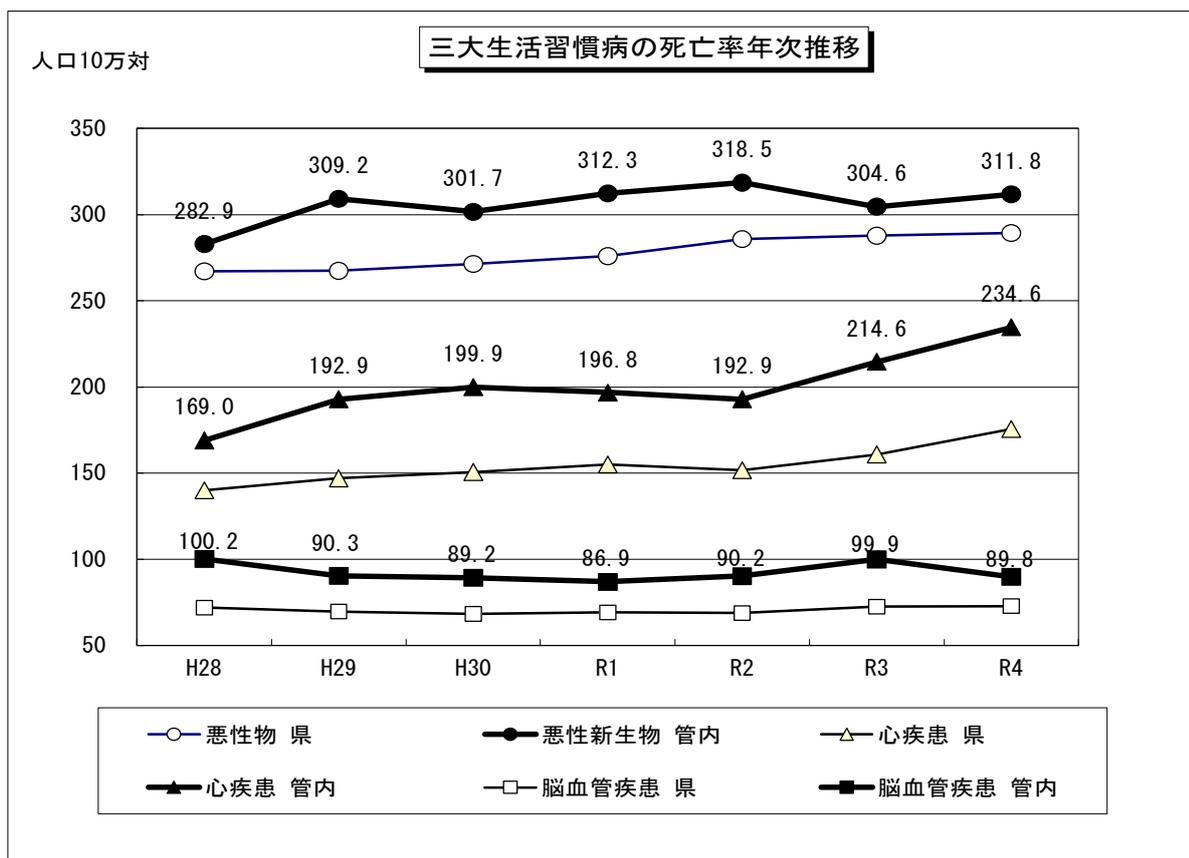
	順 位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	総数
県 ²	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	脳血管疾患	肺 炎	
	実数(人)	20,635	12,525	8,444	5,199	4,640	51,443
	割合(率)	40.11%	24.35%	16.41%	10.11%	9.02%	100.00%
	死亡率 ³	289.2	175.5	118.3	72.9	65.0	720.9
管内	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	心不全	肺 炎	
	実数(人)	1135	854	503	420	352	3,264
	割合(率)	34.77%	26.16%	15.41%	12.87%	10.78%	100.00%
	死亡率	311.8	234.6	138.2	115.4	96.7	896.7
熊谷市	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	心不全	肺 炎	
	実数(人)	601	432	251	212	187	1,683
	割合(率)	35.71%	25.67%	14.91%	12.60%	11.11%	100.00%
	死亡率	312.8	224.9	130.7	110.4	97.3	876.0
深谷市	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	心不全	肺 炎	
	実数(人)	406	329	203	163	135	1,236
	割合(率)	32.85%	26.62%	16.42%	13.19%	10.92%	100.00%
	死亡率	289.7	234.8	144.9	116.3	96.3	882.0
寄居町	死 因	悪性新生物	心 疾 患	心不全	老 衰	脳血管疾患	
	実数(人)	128	93	49	45	30	345
	割合(率)	37.10%	26.96%	14.20%	13.04%	8.70%	100.00%
	死亡率	403.9	293.4	154.6	142.0	94.7	1088.6

² 令和 5 年埼玉県的人口動態概況(概数)第 5 表死因順位(1~10 位)別死亡数・死亡率(人口 10 万対)の対前年比較

³ 実数(人)/人口×100000

ウ 三大生活習慣病による死亡率の年次推移(人口10万対)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
悪性 新生物	県	267.1	267.4	271.4	275.9	285.8	287.7	289.2
	管内	282.9	309.2	301.7	312.3	318.5	304.6	311.8
	熊谷市	291.5	318.4	294.1	288.8	308.5	314.4	312.8
	深谷市	267.1	293.7	291.3	323.3	315.1	278.5	289.7
	寄居町	299.3	321.1	391.6	405.2	392.4	360.9	403.9
心 疾患	県	139.9	146.9	150.6	155.0	151.6	160.9	175.5
	管内	169.0	192.9	199.9	196.8	192.9	214.6	234.6
	熊谷市	164.7	206.2	203.2	202.1	193.7	214.8	224.9
	深谷市	172.3	169.9	179.7	191.6	190.7	212.4	234.8
	寄居町	180.7	213.0	267.1	187.3	197.8	222.8	293.4
脳血 管疾 患	県	72.0	69.6	68.4	69.2	68.8	72.5	72.9
	管内	100.2	90.3	89.2	86.9	90.2	99.9	89.8
	熊谷市	97.5	89.4	90.4	85.7	90.6	93.9	90.6
	深谷市	95.6	83.9	87.0	76.8	90.2	97.3	87.8
	寄居町	136.3	123.0	91.1	138.1	91.0	147.5	94.7



エ 死因別死亡数(死因分類)

分類コード	死 因	管内	熊谷市	深谷市	寄居町
	総数	4 902	2 544	1 859	499
01000	感染症及び寄生虫症	77	43	28	6
01100	腸管感染症	5	4	1	-
01200	結核	6	3	3	-
01201	呼吸器結核	6	3	3	-
01202	その他の結核	-	-	-	-
01300	敗血症	33	15	14	4
01400	ウイルス性肝炎	10	7	2	1
01401	B型ウイルス性肝炎	1	-	-	1
01402	C型ウイルス性肝炎	9	7	2	-
01403	その他のウイルス性肝炎	-	-	-	-
01500	ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	-	-	-	-
01600	その他の感染症及び寄生虫症	23	14	8	1
02000	新生物<腫瘍>	1 172	619	423	130
02100	悪性新生物<腫瘍>	1 135	601	406	128
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	24	14	8	2
02102	食道の悪性新生物<腫瘍>	29	17	10	2
02103	胃の悪性新生物<腫瘍>	139	77	41	21
02104	結腸の悪性新生物<腫瘍>	107	49	41	17
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	51	24	16	11
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	75	51	17	7
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	49	30	13	6
02108	膵の悪性新生物<腫瘍>	115	53	50	12
02109	喉頭の悪性新生物<腫瘍>	5	3	2	-
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	224	113	90	21
02111	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	1	1	-	-
02112	乳房の悪性新生物<腫瘍>	49	25	18	6
02113	子宮の悪性新生物<腫瘍>	17	9	7	1
02114	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	19	11	5	3
02115	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	33	16	16	1
02116	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	37	24	10	3
02117	中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	6	4	1	1
02118	悪性リンパ腫	38	24	10	4
02119	白血病	22	10	8	4
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	9	6	2	1
02121	その他の悪性新生物<腫瘍>	86	40	41	5
02200	その他の新生物<腫瘍>	37	18	17	2
02201	中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	9	7	2	-
02202	中枢神経系を除くその他の新生物<腫瘍>	28	11	15	2
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21	6	15	-
03100	貧血	11	4	7	-
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10	2	8	-
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	65	39	22	4
04100	糖尿病	42	25	14	3
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	23	14	8	1
05000	精神及び行動の障害	88	29	45	14
05100	血管性及び詳細不明の認知症	69	22	35	12
05200	その他の精神及び行動の障害	19	7	10	2
06000	神経系の疾患	152	86	52	14
06100	髄膜炎	-	-	-	-
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	6	4	2	-
06300	パーキンソン病	27	15	10	2
06400	アルツハイマー病	68	41	22	5
06500	その他の神経系の疾患	51	26	18	7
07000	眼及び付属器の疾患	-	-	-	-
08000	耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-
09000	循環器系の疾患	1 284	655	495	134
09100	高血圧性疾患	28	6	18	4
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	17	5	9	3
09102	その他の高血圧性疾患	11	1	9	1
09200	心疾患(高血圧性を除く)	854	432	329	93
09201	慢性リウマチ性心疾患	6	3	3	-
09202	急性心筋梗塞	149	114	26	9
09203	その他の虚血性心疾患	149	40	88	21
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	35	17	14	4
09205	心筋症	6	2	2	2
09206	不整脈及び伝導障害	67	39	23	5
09207	心不全	424	212	163	49
09208	その他の心疾患	18	5	10	3
09300	脳血管疾患	327	174	123	30
09301	<も膜下出血	36	20	14	2

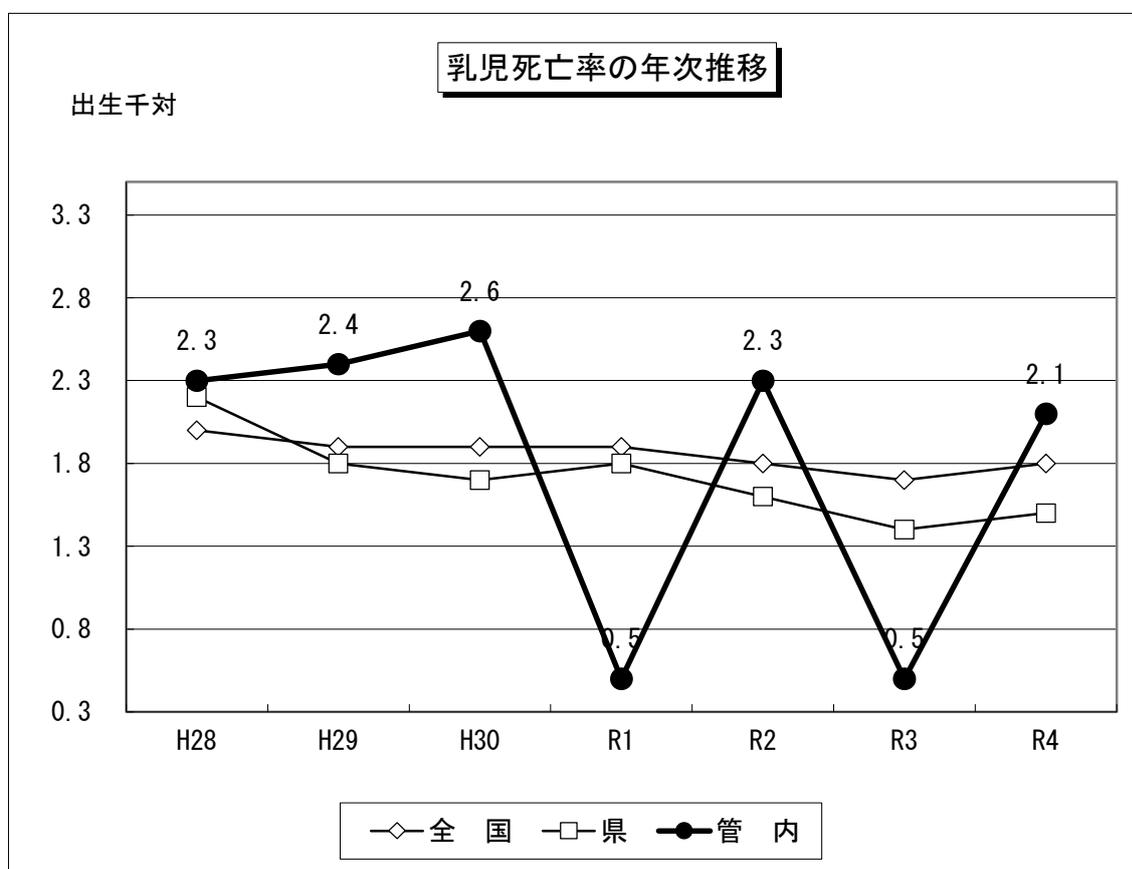
09302	脳内出血	102	54	37	11
09303	脳梗塞	184	96	71	17
09304	その他の脳血管疾患	5	4	1	-
09400	大動脈瘤及び解離	52	32	16	4
09500	その他の循環器系の疾患	23	11	9	3
10000	呼吸器系の疾患	691	359	270	62
10100	インフルエンザ	-	-	-	-
10200	肺炎	349	187	135	27
10300	急性気管支炎	-	-	-	-
10400	慢性閉塞性肺疾患	46	15	26	5
10500	喘息	4	2	1	1
10600	その他の呼吸器系の疾患	292	155	108	29
10601	誤嚥性肺炎	138	76	56	6
10602	間質性肺疾患	88	44	31	13
10603	その他の呼吸器系の疾患(10601及び10602を除く)	66	35	21	10
11000	消化器系の疾患	177	99	57	21
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	7	4	2	1
11200	ヘルニア及び腸閉塞	24	15	6	3
11300	肝疾患	48	27	12	9
11301	肝硬変(アルコール性を除く)	24	17	6	1
11302	その他の肝疾患	24	10	6	8
11400	その他の消化器系の疾患	98	53	37	8
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	10	7	3	-
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	32	13	14	5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	152	81	54	17
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	19	12	6	1
14200	腎不全	83	40	36	7
14201	急性腎不全	8	4	4	-
14202	慢性腎不全	46	21	21	4
14203	詳細不明の腎不全	29	15	11	3
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	50	29	12	9
15000	妊娠、分娩及び産じょく	-	-	-	-
16000	周産期に発生した病態	2	1	1	-
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	1	1	-	-
16200	出産外傷	-	-	-	-
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	-	-	-	-
16400	周産期に特異的な感染症	-	-	-	-
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-
16600	その他の周産期に発生した病態	1	-	1	-
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	7	4	3	-
17100	神経系の先天奇形	-	-	-	-
17200	循環器系の先天奇形	4	1	3	-
17201	心臓の先天奇形	2	1	1	-
17202	その他の循環器系の先天奇形	2	-	2	-
17300	消化器系の先天奇形	-	-	-	-
17400	その他の先天奇形及び変形	2	2	-	-
17500	染色体異常、他に分類されないもの	1	1	-	-
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	622	317	248	57
18100	老衰	499	251	203	45
18200	乳幼児突然死候群	1	-	-	1
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	122	66	45	11
20000	傷病及び死亡の外因	184	91	74	19
20100	不慮の事故	100	48	41	11
20101	交通事故	9	6	2	1
20102	転倒・転落・墜落	38	18	16	4
20103	不慮の溺死及び溺水	11	5	5	1
20104	不慮の窒息	17	4	10	3
20105	煙、火及び火炎への曝露	3	1	2	-
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	2	2	-	-
20107	その他の不慮の事故	20	12	6	2
20200	自殺	72	36	28	8
20300	他殺	1	1	-	-
20400	その他の外因	11	6	5	-

【参照】令和4年 埼玉県保健統計年報 第2編 統計資料(第1章 人口動態統計)
参考表 死亡数(年齢(5歳階級)・性・死因(死因簡単分類)) 令和4年(2022)年

(5) 乳児死亡

ア 乳児死亡率の年次推移(出生千対)

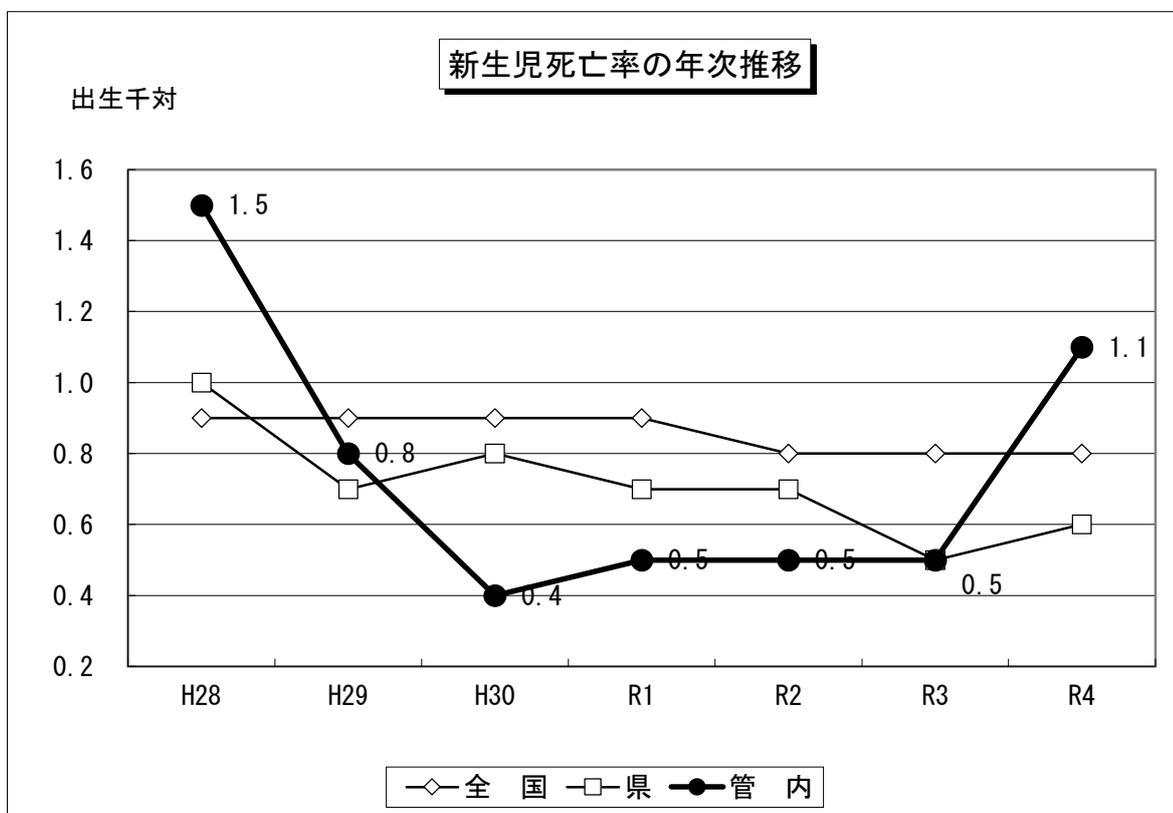
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7	1.8
県	2.2	1.8	1.7	1.8	1.6	1.4	1.5
管 内	2.3	2.4	2.6	0.5	2.3	0.5	2.1
熊谷市	0.7	3.1	3.2	-	3.6	-	1.0
深谷市	3.9	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2	2.7
寄居町	4.7	4.9	5.7	-	-	-	6.4



(6) 新生児死亡

ア 新生児死亡率の年次推移(出生千対)

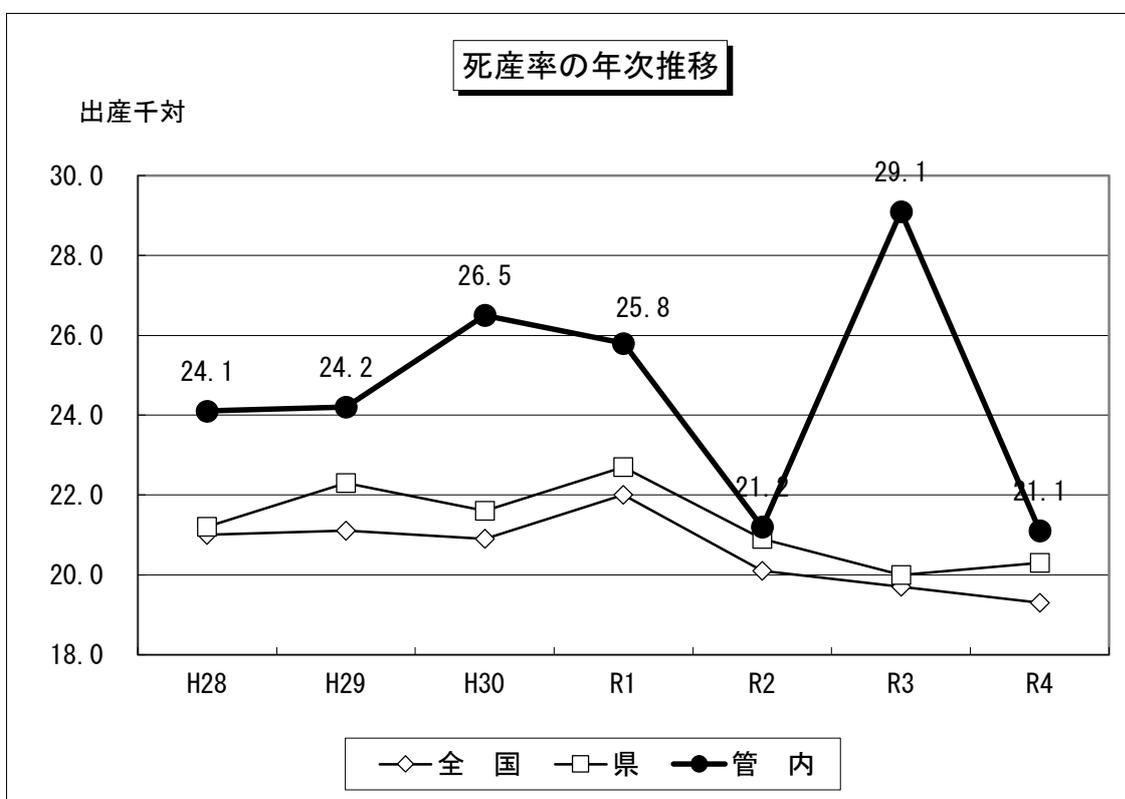
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8
県	1.0	0.7	0.8	0.7	0.7	0.5	0.6
管 内	1.5	0.8	0.4	0.5	0.5	0.5	1.1
熊谷市	-	1.6	-	-	-	-	1.0
深谷市	2.9	-	-	1.2	1.2	1.2	1.3
寄居町	4.7	-	5.7	-	-	-	-



(7) 死産

ア 死産率の年次推移(出産千対)

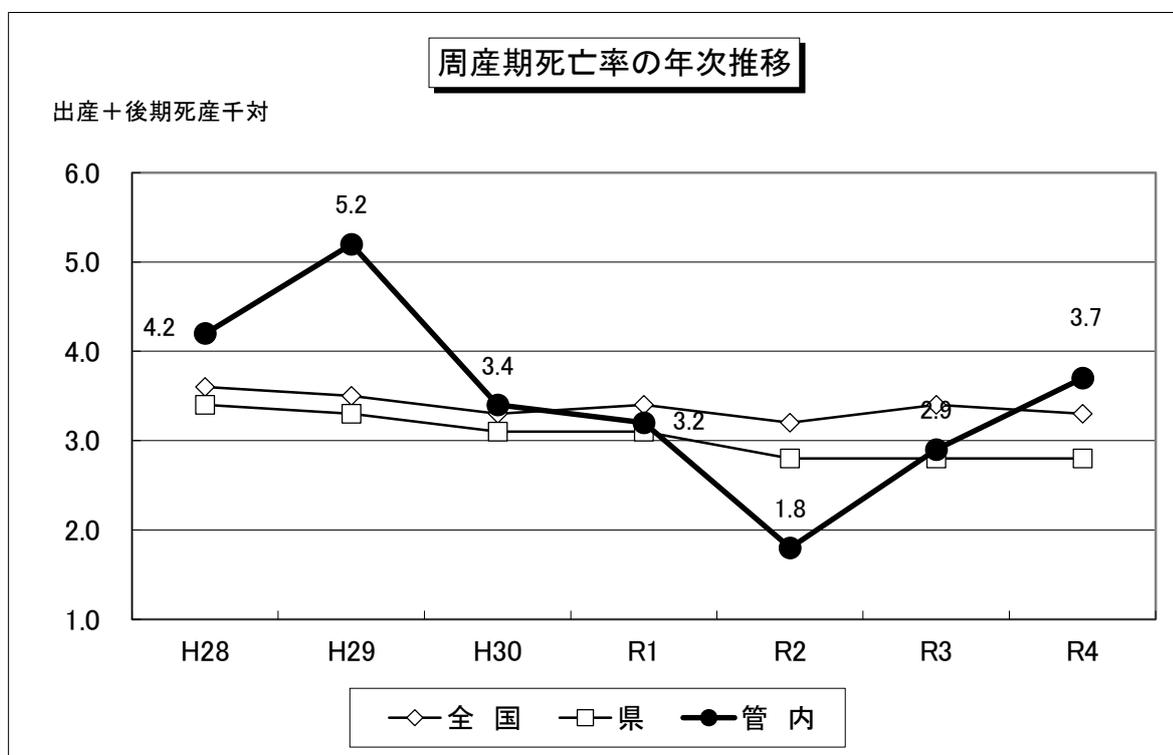
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国	21.0	21.1	20.9	22.0	20.1	19.7	19.3
県	21.2	22.3	21.6	22.7	20.9	20.0	20.3
管 内	24.1	24.2	26.5	25.8	21.2	29.1	21.1
熊谷市	26.6	24.4	22.9	21.4	24.5	28.6	27.1
深谷市	25.5	27.6	28.9	29.6	15.9	28.3	15.9
寄居町	-	4.9	38.7	36.4	26.6	37.3	6.4



(8) 周産期死亡

ア 周産期死亡率の年次推移(出生+後期死産千対)

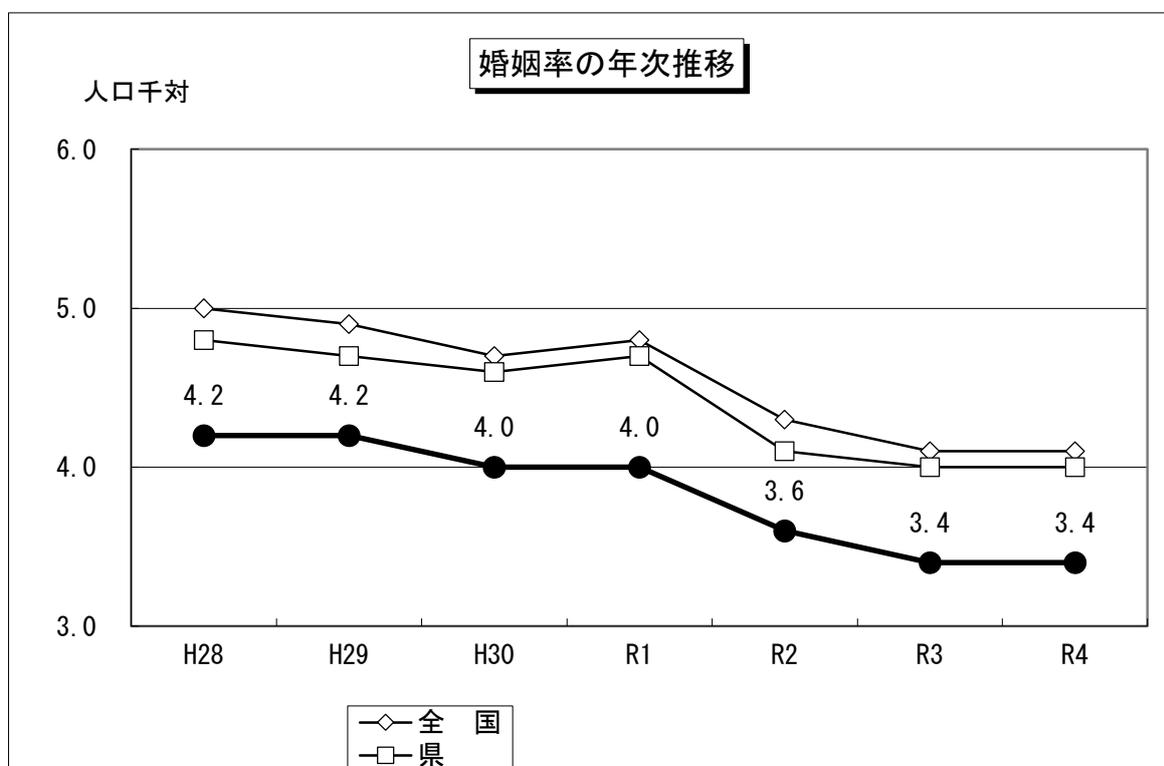
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国	3.6	3.5	3.3	3.4	3.2	3.4	3.3
県	3.4	3.3	3.1	3.1	2.8	2.8	2.8
管 内	4.2	5.2	3.4	3.2	1.8	2.9	3.7
熊谷市	2.9	4.7	4.0	4.4	2.7	1.8	3.0
深谷市	5.8	6.8	-	2.3	-	4.7	4.0
寄居町	4.7	-	17.0	-	5.4	-	6.4



(9) 婚姻

ア 婚姻率の年次推移(人口千対)

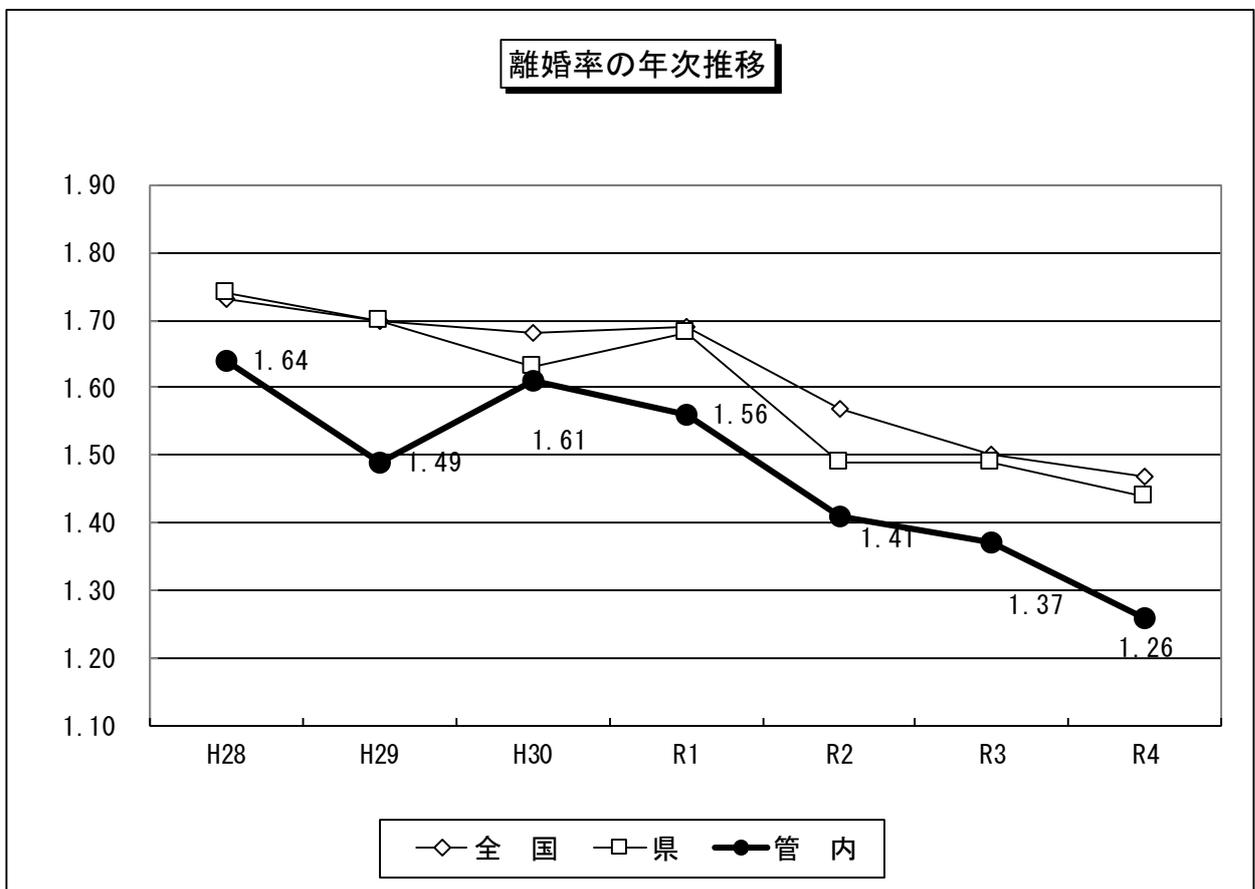
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国	5.0	4.9	4.7	4.8	4.3	4.1	4.1
県	4.8	4.7	4.6	4.7	4.1	4.0	4.0
管 内	4.2	4.2	4.0	4.0	3.6	3.4	3.4
熊谷市	4.2	4.2	4.2	4.3	3.8	3.5	3.6
深谷市	4.2	4.2	3.9	3.8	3.4	3.3	3.2
寄居町	4.1	4.0	3.0	3.4	3.1	2.2	2.9



(10) 離婚

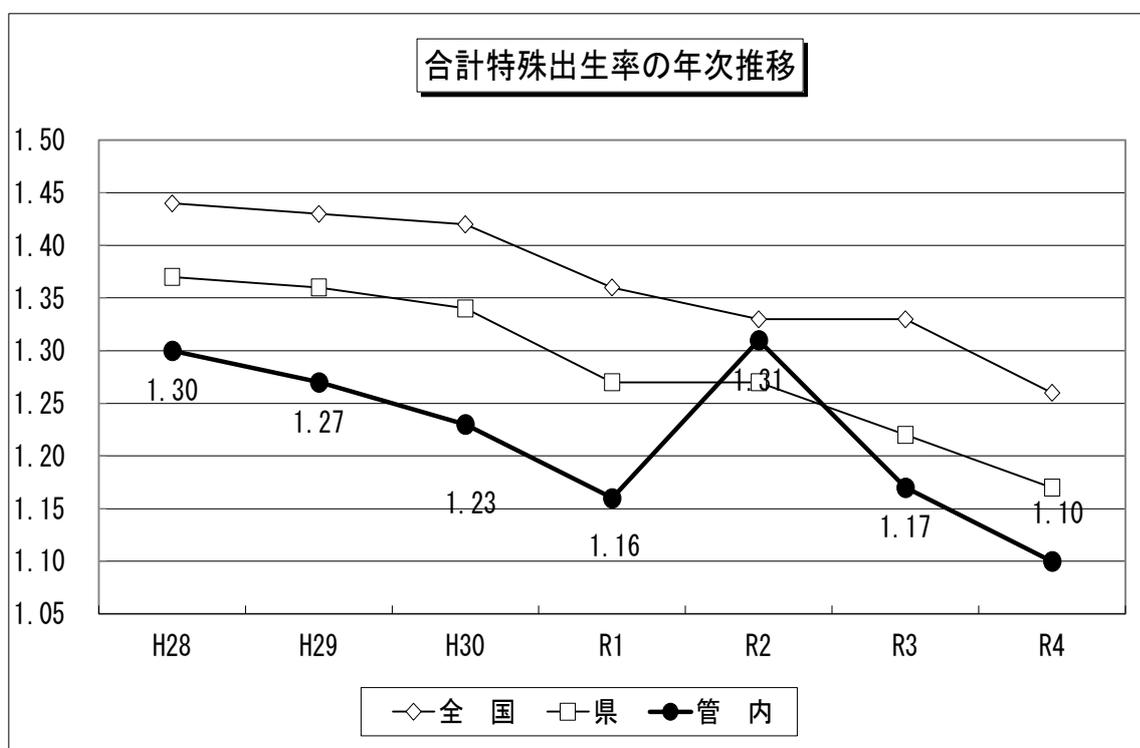
ア 離婚率の年次推移(人口千対)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全国	1.73	1.70	1.68	1.69	1.57	1.50	1.47
県	1.74	1.70	1.63	1.68	1.49	1.49	1.44
管内	1.64	1.49	1.61	1.56	1.41	1.37	1.26
熊谷市	1.64	1.52	1.59	1.48	1.45	1.32	1.36
深谷市	1.64	1.49	1.61	1.63	1.36	1.41	1.05
寄居町	1.66	1.38	1.70	1.69	1.41	1.48	1.51



(11) 合計特殊出生率の年次推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全 国	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.33	1.26
県	1.37	1.36	1.34	1.27	1.27	1.22	1.17
管 内	1.30	1.27	1.23	1.16	1.31	1.17	1.10
熊谷市	1.28	1.22	1.22	1.16	1.27	1.16	1.10
深谷市	1.32	1.34	1.28	1.19	1.36	1.25	1.09
寄居町	1.29	1.27	1.11	1.05	1.38	0.91	1.11



○ 関係機関・団体、協議会委員等

管内関係行政機関

名 称	住 所	電 話 番 号
熊谷市役所	熊谷市宮町 2-47-1	048-524-1111
健康づくり課	熊谷市箱田 1-2-39	048-528-0601
熊谷保健センター	熊谷市箱田 1-2-39	048-526-5737
母子健康センター	熊谷市大原 1-5-36	048-525-2722
深谷市役所	深谷市仲町 11-1	048-571-1211
深谷市保健センター	深谷市本住町 17-1	048-575-1101
寄居町役場	寄居町寄居 1180-1	048-581-2121
健康づくり課	寄居町寄居 1180-1	048-581-2121
熊谷警察署	熊谷市石原 441-4	048-526-0110
深谷警察署	深谷市戸森 88-1	048-575-0110
寄居警察署	寄居町桜沢 923	048-581-0110
熊谷市消防本部	熊谷市原島 675-1	048-501-0119
深谷市消防本部 (寄居町を含む)	深谷市上敷免 858	048-571-0900

管内関係団体

令和6年10月1日現在

団 体 名	代 表 者	事 務 局 及 び 電 話 番 号	
(一社) 熊谷市医師会	小 林 敏 宏	医師会事務局 熊谷市大原 1-5-28	048-521-2727
(一社) 深谷寄居医師会	黒 屋 信 隆	医師会事務局 深谷市国済寺 319-3	048-573-7724
(一社) 熊谷市歯科医師会	植 野 順 子	熊谷市本石 1-11-1	048-599-2323
深谷寄居歯科医師会	中 島 章 富	深谷市栄町 1-33 中島歯科医院	048-573-8849
(一社) 熊谷薬剤師会	牛 島 裕 陽	熊谷市本町 2-84 薬剤師会館 2 階	048-520-5388
深谷市薬剤師会	中 里 範 子	深谷市西島町 3-13-14 同仁薬局	048-574-1134
寄居薬剤師会	松 本 隆	寄居町用土 392-2 寄居薬剤師会薬局	048-579-0980
熊谷保健所管内 食品衛生協会連合会	川 田 進	熊谷保健所内	048-526-1556
同 連合会 熊谷食品衛生協会	秋 山 俊 介	熊谷保健所内	048-523-8975
同 連合会 深谷・寄居食品衛生協会	川 田 進	熊谷保健所内	048-526-1556
熊谷保健所管内 熊谷地区狂犬病予防協会	坂 本 雅 史	熊谷市環境推進課内 (江南庁舎内)	048-536-1565
熊谷保健所管内 深谷狂犬病予防協会	細 村 敦	深谷市環境衛生課内	048-578-7332
熊谷保健所管内 環境衛生協会	中 村 伸 寛	熊谷市万平町 2-25 (カットショップ フロス)	048-526-7363
熊谷保健所管内 薬物乱用防止指導員協議会	牛 島 裕 陽	熊谷保健所内	048-578-4561

埼玉県北部地域医療構想調整会議委員名簿

(任期 令和6年6月1日～令和8年5月31日)

要綱	団体種別等		氏名	団体役職名等
第3条(1)	医師会	1	小林 敏宏	熊谷市医師会 会長
		2	鈴木 和喜	本庄市児玉郡医師会 会長
		3	黒屋 信隆	深谷寄居医師会 会長
	歯科医師会	4	植野 順子	熊谷市歯科医師会 会長
		5	竹内 靖	本庄市児玉郡歯科医師会 会長
		6	中島 章富	深谷寄居歯科医師会 会長
	薬剤師会	7	牛島 裕陽	熊谷薬剤師会 会長
		8	持田 佳以子	本庄市児玉郡薬剤師会 会長
		9	中里 範子	深谷市薬剤師会 会長
第3条(2)	急性期医療機関	10	八木 伸一	埼玉慈恵病院副院長 (熊谷市医師会)
		11	草間 芳樹	本庄総合病院院長 (本庄市児玉郡医師会)
		12	伊藤 博	深谷赤十字病院院長 (深谷寄居医師会)
	回復期医療機関	13	山崎 哲資	熊谷外科病院院長 (熊谷市医師会)
		14	青木 隆志	青木病院院長 (本庄市児玉郡医師会)
		15	佐々木 敏行	医療法人社団優慈会佐々木病院院長 (深谷寄居医師会)
	慢性期医療機関	16	小堀 勝充	熊谷生協病院名誉院長 (熊谷市医師会)
		17	藪部 光一	医療法人三光会そのべ病院院長 (本庄市児玉郡医師会)
		18	黒澤 永	特定医療法人好文会あねとす病院院長 (深谷寄居医師会)
	在宅医療機関	19	大塚 貴博	大塚医院ファミリークリニック院長 (熊谷市医師会)
		20	富沢 峰雄	富沢医院院長 (本庄市児玉郡医師会)
		21	青木 康弘	プラーナクリニック院長 (深谷寄居医師会)
第3条(2)	精神科病院	22	林 文明	西熊谷病院院長
	県立病院	23	池谷 朋彦	埼玉県立循環器・呼吸器病センター病院院長
第3条(1)	病院団体	24	清水 暢裕	医療法人啓清会関東脳神経外科病院院長
	看護協会	25	柿澤 由紀子	深谷赤十字病院看護部長
第3条(3)	保険者協議会	26	山本 広道	全国健康保険協会埼玉支部 企画総務部長
第3条(4)	市町	27	田島 尚栄	熊谷市市民部長
		28	榊田 誉浩	本庄市保健部長
		29	清水 良保	深谷市福祉健康部長
		30	落合 秋子	美里町住民保険課長
		31	榊 豊	神川町保険健康課長
		32	亀田 真司	上里町健康保険課長
		33	木元 佑輔	寄居町健康づくり課長
第3条(6)	消防本部	34	齊藤 新一	深谷市消防本部消防長
第3条(5)	保健所	35	中山 由紀	埼玉県熊谷保健所長
		36	柳澤 大輔	埼玉県本庄保健所長

(敬称略)

埼玉県北部地域保健医療協議会名簿

(任期 令和6年6月1日～令和8年5月31日)

要綱	団体種別等		氏 名	団体役職名等
第3条	医師会	1	小林 敏宏	熊谷市医師会 会長
		2	鈴木 和喜	本庄市児玉郡医師会 会長
		3	黒屋 信隆	深谷寄居医師会 会長
	歯科医師会	4	植野 順子	熊谷市歯科医師会 会長
		5	竹内 靖	本庄市児玉郡歯科医師会 会長
		6	中島 章富	深谷寄居歯科医師会 会長
	薬剤師会	7	牛島 裕陽	熊谷薬剤師会 会長
		8	持田 佳以子	本庄市児玉郡薬剤師会 会長
		9	中里 範子	深谷市薬剤師会 会長
	看護協会	10	柿澤 由紀子	深谷赤十字病院看護部長
	精神科病院	11	林 文明	西熊谷病院院長
	県立病院	12	池谷 朋彦	埼玉県立循環器・呼吸器病センター病院長
	病院団体	13	清水 暢裕	医療法人啓清会関東脳神経外科病院院長
	災害拠点病院及び災害時連携病院の代表者	14	伊藤 博	深谷赤十字病院 院長
		15	今野 慎	社会医療法人熊谷総合病院 院長
	郡市医師会ごとの主要な病院の代表者	16	今野 慎	社会医療法人熊谷総合病院院長 (熊谷市医師会)
		17	草間 芳樹	本庄総合病院院長 (本庄市児玉郡医師会)
		18	佐々木 敏行	医療法人社団優慈会佐々木病院院長 (深谷居医師会)
	保健衛生関係者	19	渡部 明子	深谷市食生活改善推進員協議会 会長
		20	大崎 幸恵	熊谷市地域子育て支援拠点連絡会 くまっしえ副会長
	保険者協議会	21	山本 広道	全国健康保険協会埼玉支部 企画総務部長
	市町	22	田島 尚栄	熊谷市市民部長
		23	榊田 誉浩	本庄市保健部長
		24	清水 良保	深谷市福祉健康部長
		25	落合 秋子	美里町住民保険課長
		26	榊 豊	神川町保険健康課長
		27	亀田 真司	上里町健康保険課長
		28	木元 佑輔	寄居町健康づくり課長
	消防本部	29	齊藤 新一	深谷市消防本部消防長
	公募委員	30	加藤 英明	公募委員 (熊谷市在住)
	保健所	31	中山 由紀	埼玉県熊谷保健所長
		32	柳澤 大輔	埼玉県本庄保健所長

(敬称略)

熊谷保健所所管区域難病対策地域協議会 構成委員

	分類	氏名	所属・職名
1	医療	大塚 貴博	一般社団法人 熊谷市医師会 理事 (大塚医院ファミリークリニック 院長)
2	医療	小堀 勝充	一般社団法人 熊谷市医師会 理事 (熊谷生協病院 名誉院長)
3	医療	飯塚 勇	一般社団法人 深谷寄居医師会 理事 (いいづかクリニック 院長)
4	医療	青木 康弘	一般社団法人 深谷寄居医師会 理事 (プラーナクリニック 院長)
5	医療	長田 治	日本赤十字社 深谷赤十字病院 脳神経内科副部長
6	医療	田中 順子	医療生協さいたま 熊谷生協ケアセンター 所長
7	医療	新井 悟	公益社団法人埼玉県栄養士会 北部地域事業部委員長 (特別養護老人ホーム 白砂恵慈園 管理栄養士)
8	医療	篠崎 和美	あねとす訪問看護ステーション 看護師
9	介護	藤井 弘行	社会福祉法人埼玉慈恵会 居宅介護支援事業所 ぬくもり主任介護支援専門員 (管理者)
10	患者・家族	阪爪 進一朗	管内患者代表
11	福祉	小澤 信行	熊谷市福祉部 長寿いきがい課 課長
12	福祉	茂木 典夫	熊谷市福祉部 障害福祉課 課長
13	福祉	浅田 朱美	深谷市福祉健康部 障害福祉課 課長
14	福祉	笠原 正	深谷市福祉健康部 長寿福祉課 課長
15	福祉	角田 真一	寄居町福祉課 課長
16	保健	中山 由紀	熊谷保健所 所長

(敬称略)

任期：令和5年10月1日～令和7年9月30日（2年間）

熊谷・深谷地区救急医療対策協議会 委員名簿

令和6年3月31日現在

	氏名	職名	区分	備考
1	小林 敏宏	熊谷市医師会長	郡市医師会代表	
2	河本 英敏	行田市医師会長	"	
3	黒屋 信隆	深谷寄居医師会長	"	
4	伊藤 博	深谷赤十字病院長	第三次救急病院	
5	今野 慎	(社医)熊谷総合病院院長	第二次救急病院	
6	山崎 哲資	熊谷外科病院長	"	
7	久保 寿朗	埼玉慈恵病院長	"	
8	清水 暢裕	(医)啓清会関東脳神経外科病院長	"	
9	川島 治	行田中央総合病院長	"	
10	川嶋 博	(社医)壮幸会行田総合病院理事長	"	
11	佐々木 敏行	(医)優慈会佐々木病院長	"	
12	藤田 尚己	埼玉よりい病院長	"	
13	新井 家光	(医)葵深谷中央病院長	"	
14	小林 哲也	熊谷市長	市町	
15	行田 邦子	行田市長	"	
16	小島 進	深谷市長	"	
17	峯岸 克明	寄居町長	"	
18	松村 修	熊谷市消防本部消防長	消防	
19	吉澤 宏	行田市消防本部消防長	"	
20	飯野 勇人	深谷市消防本部消防長	"	
21	鈴木 勝幸	加須保健所長	保健所	
22	中山 由紀	熊谷保健所長	"	

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

埼玉県北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議 委員名簿

任期：令和6年8月1日～令和8年7月31日

分野	No.	氏名	団体役職名等	職名等
医師会	1	北 順二	熊谷市医師会 理事	
	2	山下 純男	深谷寄居医師会 理事	
	3	青木 隆志	本庄市児玉郡医師会 理事	
歯科医師会	4	小川 智	一般社団法人熊谷市歯科医師会 副会長	
	5	石原 博史	本庄市児玉郡歯科医師会 副会長	
	6	中島 章富	深谷寄居歯科医師会 会長	
薬剤師会	7	岸 稔	一般社団法人熊谷薬剤師会 理事	
	8	野村 美宏	本庄市児玉郡薬剤師会 理事	
	9	島田 雅子	深谷市薬剤師会 理事	
	10	松本 隆	寄居薬剤師会 会長	
災害拠点病院	11	中里 益夫	深谷赤十字病院 社会課長	
災害時連携病院	12	今野 慎	熊谷総合病院 院長	
地域災害医療 コーディネーター	13	長島 真理子	深谷赤十字病院 救急診療科嘱託医師	
	14	宮嶋 玲人	深谷赤十字病院 第二内科部長	
第2次救急医療施設	15	山崎 哲資	熊谷外科病院 院長(熊谷市医師会)	
	16	佐々木 敏行	佐々木病院 院長(深谷寄居医師会)	
	17	鈴木 和喜	鈴木外科病院 院長(本庄市児玉郡医師会)	
看護協会	18	柿澤 由紀子	深谷赤十字病院 看護部長	埼玉県看護協会
透析災害医療	19	逸見 憲秋	深谷赤十字病院 腎臓内科部長	地域(第5)ブロック代表
災害時小児周産 期 リエゾン	20	松本 智恵子	深谷赤十字病院 産科部長	県登録リエゾン
	21	櫻井 伸晴	深谷赤十字病院 小児科副部長	県登録リエゾン
精神科医療	22	渡邊 貴文	西熊谷病院 副院長	
県立病院	23	小口 賢	埼玉県立循環器・呼吸器病センター 事務局長	
消防	24	大河原 剛	熊谷市消防本部 警防課長	
	25	小暮 誠	深谷市消防本部 次長兼警防課長	
	26	久保 賢一	児玉郡市広域消防本部 次長兼警防課長	
警察	27	清水 由昭	熊谷警察署 警備課長	
	28	松井 淳一	本庄警察署 警備課長	
	29	天野 光裕	深谷警察署 警備課長	
	30	井桁 崇	寄居警察署 警備課長	
	31	茂木 孝康	児玉警察署 警備課長	

分野	No.	氏名	団体役職名等	職名等
市町	32	浅見 仁志	熊谷市市長公室危機管理課長	危機管理部門の代表
	33	笠木 光浩	熊谷市市民部健康づくり課 課長	保健衛生部門の代表
	34	田島 隆行	本庄市市民生活部危機管理課 課長	危機管理部門の代表
	35	中村 俊夫	本庄市保健部健康推進課 課長	保健衛生部門の代表
	36	村尾 厚彦	深谷市総務部総務防災課 課長	危機管理部門の代表
	37	笠原 正幸	深谷市福祉健康部保健センター 所長	保健衛生部門の代表
	38	上田 博士	美里町総務課 課長	危機管理部門の代表
	39	落合 秋子	美里町住民保険課 課長	保健衛生部門の代表
	40	川野 俊彦	神川町役場防災環境課 課長	危機管理部門の代表
	41	榊 豊	神川町役場保険健康課 課長	保健衛生部門の代表
	42	関口 博之	上里町役場くらし安全課 課長	危機管理部門の代表
	43	亀田 真司	上里町役場健康保険課 課長	保健衛生部門の代表
	44	藤巻 賢一	寄居町自治防災課 課長	危機管理部門の代表
	45	木元 佑輔	寄居町健康づくり課 課長	保健衛生部門の代表
県災害対策本部熊谷支部	46	清水 洋一郎	北部地域振興センター副所長（兼）地域防災幹（兼）地域調整幹	
県保健所	47	中山 由紀	埼玉県熊谷保健所 所長	
	48	柳澤 大輔	埼玉県本庄保健所 所長	

令和6年度熊谷保健所感染症診査協議会委員名簿

氏 名	職 種 等
岩 前 成 紀	医 師
河 津 千 絵	医 師
栗 木 祥 子	弁 護 士

令和6年度感染症指定医療機関名

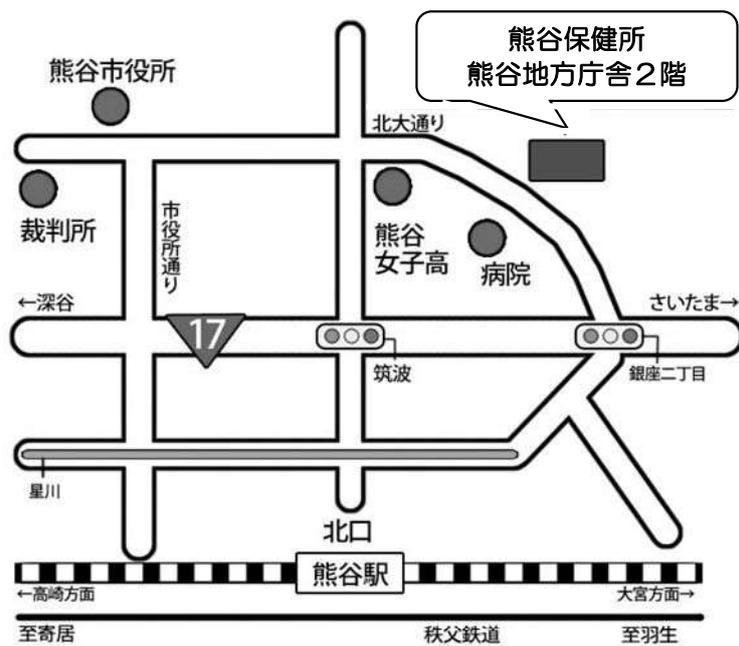
第二種感染症指定医療機関

医療機関名	住 所	電話番号
深谷赤十字病院	深谷市上柴町西5-8-1	048-571-1511
県立循環器・呼吸器 病センター	熊谷市板井1696	048-536-9900

熊谷保健所健康相談等日程表【保健予防推進担当 令和6年度】

相談名	結核相談		エイズ・その他 性感染症検査		感染症 診査協議会	子どもの心の健康相談			ひきこもり 専門相談	相談名
	QFT検査	即日(エイズ・梅毒)検査	一般	通常検査		精神科医 の相談	小児科医 の相談	臨床 心理士の 相談		
対象者	患者・家族・接触者	一般	一般	一般		幼児・児童・生徒・関係者			該当者	対象者
予約等	予約制	予約制	予約制	予約制		予約制			予約制	予約等
受付時間	午前9時～9時半	午前10時～11時	午前10時～11時	午前10時～11時		午後1時～			午前10時～12時	受付時間
実施日	(1) 毎月 第2木曜日	(2) 毎月 第4火曜日	毎月 第2木曜日	毎月 第4火曜日	(1) 毎月 第2月曜日	偶数月 第3水曜日	奇数月 第4金曜日	毎月 第2月曜日	毎月 第2月曜日	実施日
4月	11	23	11(エイズのみ)	23	8	17	—	8	8	4月
5月	9	28	9	28	13	—	24	13	13	5月
6月	13	25	13	25	10	19	—	10	10	6月
7月	11	23	11	23	8	—	26	8	—	7月
8月	8	27	8	27	5※	21	—	5※	5※	8月
9月	12	24	12	24	9	—	27	9	9	9月
10月	10	22	10	22	7※	16	—	7※	7※	10月
11月	14	26	14	26	11	—	22	11	11	11月
12月	12	24	12	24	9	18	—	9	—	12月
1月	9	28	9	28	6※	—	24	6※	6※	1月
2月	13	25	13	25	10	19	—	10	10	2月
3月	13	25	13	25	10	—	28	10	10	3月

※印は、定例日外





令和 6 年度 版 事 業 概 要

令和 6 年 1 1 月 発 行
編 集 発 行 埼 玉 県 熊 谷 保 健 所
熊 谷 市 末 広 3 丁 目 9 番 1 号
T E L 0 4 8 - 5 2 3 - 2 8 1 1
F A X 0 4 8 - 5 2 3 - 4 4 8 6
ホ ー ム ペ ー ジ <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0711/>
E メール k232811@pref.saitama.lg.jp



「彩の国」さいたま